

平成21年度

## 中津川市当初予算の概要



雪の恵那山

豊かな自然と独自の歴史・文化が光る、  
いきいきとしたふるさと中津川

岐阜県中津川市

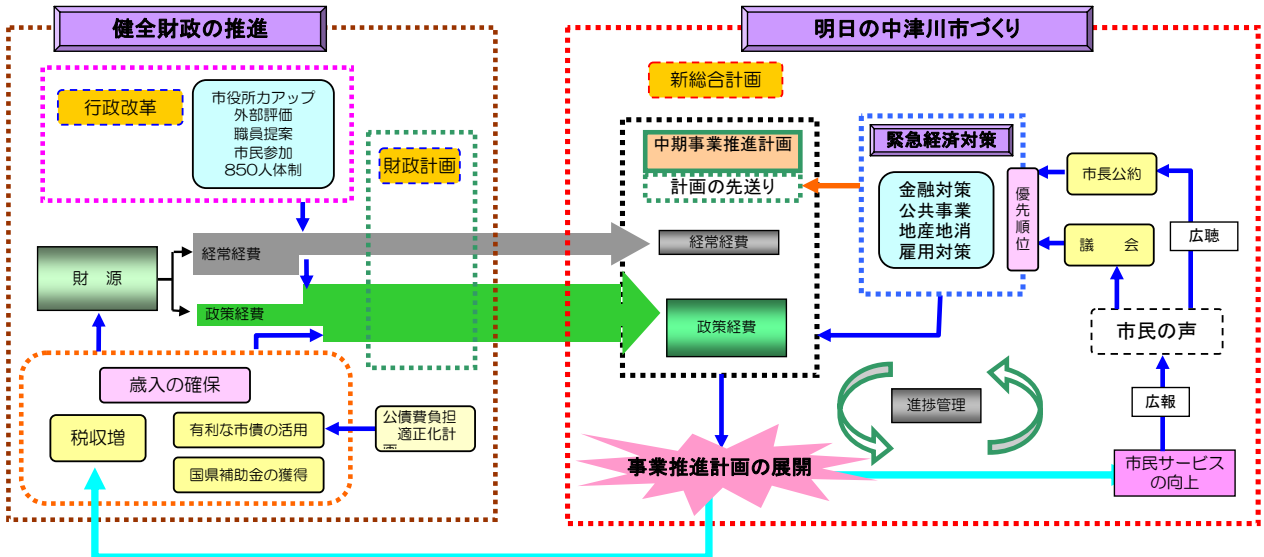


- 9 社会基盤の整備 ..... 37
- 10 今日の課題事業群 ..... 40
- 11 各地域において実施する主な事業 ..... 42
- 12 地域振興特別予算事業 ..... 44

資料編

- 1 合併後の各地域のまちづくり ..... 45
- 2 会計別予算規模一覧表 ..... 50
- 3 一般会計総括表(歳入) ..... 51
- 4 一般会計総括表(目的別歳出) ..... 52
- 5 一般会計歳出予算の状況(性質別) ..... 53
- 6 起債残高 ..... 54
- 7 補助金の支出状況 ..... 55
- 8 歳出節別予算集計表 ..... 57

《 参考 》 ■ 予算の組み立てイメージ



## 平成 21 年度予算編成にあたって

振り返りますと、市長就任 1 年目は、合併を成し遂げるとともに、新しい市政運営の体制づくりの 1 年でした。そして、合併と同時期に編成した平成 17 年度予算は、**地域振興特別予算を創設**するなど、「**合併後のまちづくりを軌道に乗せていく**」予算であり、公約の推進を全市域に拡大し、果敢にトライする予算でした。



平成 18 年度予算編成では、新市のさらなる一体感を醸成するため、まちづくりの方向性を示す「**新中津川市総合計画基本構想**」を策定し、そこで定めた将来都市像である「**豊かな自然と独自の歴史・文化が光る、いきいきとしたふるさと中津川**」を目指した「**合併を成功に導くための基礎固め**」予算として編成しました。

平成 19 年度は、合併 3 年目として、「**合併成功への道筋をつける**」予算として編成しました。「**多様性の中の統一**」を基本理念とし、将来都市像のさらなる実現を目指しました。特に、厳しい財政状況に対応して、市民による行政評価委員会および職員の努力により、義務的経費、行政運営費等を圧縮するとともに新規の国、県補助金を確保し、**財政健全化の指針である公債費負担適正化計画を守る**一方で、将来都市像を実現するために必要な投資的事業費の確保に努めました。

平成 20 年度は、平成 17～19 年度の予算の流れを踏まえ、**引続き公債費負担適正化計画を指針として、健全財政を維持**しながら、中期事業推進計画を着実に実行し、**将来都市像を実現するための骨格予算として編成**し、必要な事業を実施するため、補正予算を編成して肉付けをしてまいりました。

**市役所改革をさらに推し進め、出先機関である地域総合事務所やコミュニティセンターの権限、機能を強化**し、各地域の活力を高め、「**合併成功に弾みをつける**」予算として編成しました。

そして平成 21 年度は、2 期目市政運営の基本方針として①市役所改革を実施し、②財政の健全性を確保し、③市民が望む必要な事業を実施する取り組みをすすめる中、喫緊の課題として、「**100 年に 1 回の津波**」といわれる金融危機に起因する不景気を乗り越えるため、**金融支援、公共事業の発注、雇用対策、地産地消運動の推進など景気対策**を進めます。

また、これまで進めてきました**人口減少を食い止めるための重点施策**としての、**産業の振興、住宅の整備、少子化対策の 3 点セット**に加えて、**教育、医療、交通、情報の 4 つの施策**を充実して、コミュニティを維持するとともに、**環境にやさしいライフスタイルの構築、中心市街地活性化**の 2 つの施策を充実するほか、リニア中央新幹線停車駅の県内 1 駅誘致を視野に入れた広域の拠点づくりにより、「**明日の中津川市づくり**」を進めます。

そのため、4 つの気質改革をふまえた**市役所改革を更に推し進め**、「個」の体質ではなく、組織として、チームとして政策に取り組んでいく体制づくりにより市役所力を高めるとともに、**出先機関である地域総合事務所やコミュニティセンターの権限、機能の強化**により、各地域の活力を高め、この「**合併成功に向け飛躍していく**」予算により、「**中津川市ここにあり!**」と全国に誇れるような「**いきいき光る明日の中津川市**」を創ってまいります。市民のみなさんのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成 21 年 2 月

中津川市長 大山 耕二

## 予算の規模

全会計の合計： **75,408,991**千円（対前年度比 **6.3%増**）

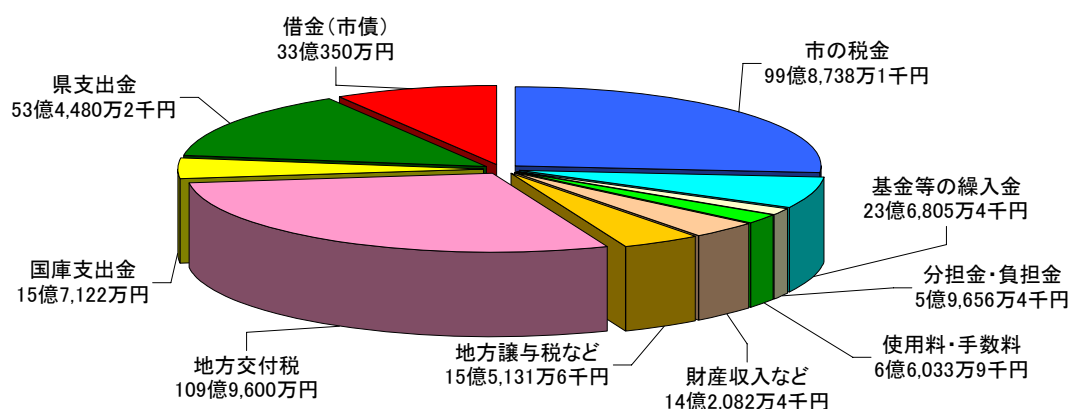
一般会計： **37,800,000**千円（対前年度比 **9.4%増**）

（単位：千円、%）

	平成21年度		平成20年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	37,800,000	50.1	34,543,000	48.7	3,257,000	9.4
特別会計	22,856,943	30.3	21,548,250	30.4	1,308,693	6.1
企業会計	14,752,048	19.6	14,850,433	20.9	△98,385	△0.7
合計	75,408,991	100.0	70,941,683	100.0	4,467,308	6.3

## 一般会計予算の特徴

### 【歳入】



①市税は、対前年度当初比 5.9%減の 99 億 8,738 万 1 千円

製造業を中心に法人市民税の税収減が見込まれることなどから、対前年度当初比 5.9%減の 99 億 8,738 万 1 千円を計上しました。

（単位：千円）

	平成21年度	平成20年度当初	差引
市 税	9,987,381	10,611,013	▲ 623,632
うち市民税	4,246,561	4,567,932	▲ 321,371
うち法人市民税	775,544	1,039,566	▲ 264,022
うち固定資産税	4,595,648	4,826,007	▲ 230,359
うち家屋	2,017,256	2,166,401	▲ 149,145

②地方交付税は、対前年度当初比 1.3%増の 109 億 9,600 万円

普通交付税で、地方財源の充実、地域雇用創出推進費として別枠で 1 兆円確保されたことで、本市としては、前年度当初に比べ約 7 億 1,100 万円の増があるものの、別枠以外の部分で 5 億 7,600 万円の減が見込まれ、地方交付税は、対前年度当初比 1.3%増の 109 億 9,600 万円を計上しました。

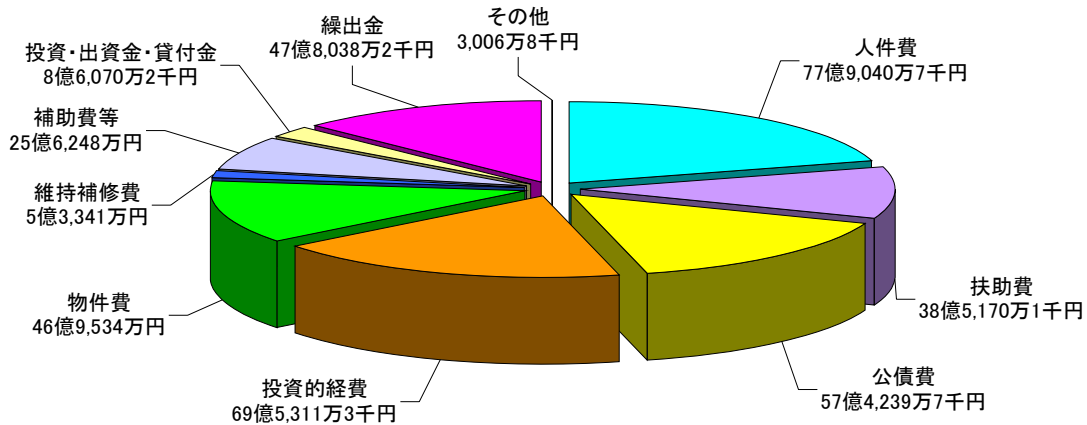
③市債は、対前年度当初比 9.0%増の 33 億 350 万円

地方交付税の足りない分を自治体に借金させ、将来の返済時に交付税で全額負担する「臨時財政対策債」の増が、5 億 7,930 万円見込まれ、対前年度当初比 9.0%増の 33 億 350 万円を計上しました。

(単位：千円)

	平成21年度	平成20年度当初	差引
市 債	3,303,500	3,029,800	273,700
施設整備のための市債	1,690,200	1,995,800	▲ 305,600
臨時財政対策債	1,613,300	1,034,000	579,300

【歳出】



①職員人件費（市長・副市長を除く。）は、対前年度当初比 1.6%増の 69 億 1,988 万 7 千円

平成 22 年度末の職員 850 人体制に向け、給料で、1 億 7,955 万 5 千万円を削減しました。ただし、退職金が前年度に比べ約 3 億 9,314 万 7 千円増となり、総額では 1 億 1,040 万 5 千円の増となりました。

②公債費は、定期償還額のピークを越えました。対前年度当初比 3.4%減の 57 億 4,239 万 7 千円

平成 18 年度に作成した公債費負担適正化計画の方針（「返す以上に借りない」など）に従い、借金残高を計画的に減らしてきた結果、借金の定期償還額は、決算額ベースで平成 19 年度の 56 億 4,239 万 5 千円をピークに緩やかながら下がり始めます。

また、借金残高を減らすため、平成 21 年度は、国の地方支援策である補償金なしの繰上償還を 1 億 8,086 万 6 千円行います。

(単位：千円)

	平成21年度	平成20年度当初	差引
公債費	5,742,397	5,945,202	▲ 202,805
うち定期償還額	5,561,531	5,658,415	▲ 96,884
うち繰上償還額	180,866	286,787	▲ 105,921

健全財政の指針となる公債費負担適正化計画は守られています。借入額を計画額より 7 億 7,394 万 4 千円抑制し、借金残高は、計画額より 12 億 96 万 3 千円減少します。

公債費負担適正化計画との比較

(単位：千円)

	平成21年度計画	平成21年度予算	差 引
借入額	4,077,444	3,303,500	▲ 773,944
借金返済額	5,713,586	5,742,397	28,811
うち元金	4,938,060	4,951,730	13,670
うち利息	775,526	790,667	15,141
借金残高	46,881,581	45,680,618	▲ 1,200,963

※平成21年度繰上償還額は、公債費負担適正化計画に従い1億8,086万6千円行いま

③投資的経費は、対前年度当初比 79.3%増の 69 億 5,311 万 3 千円

投資的経費のうち加子母地区の合板工場に対し、県からの 10/10 の補助金を市の会計を通して支出する分約 31 億 8,971 万 4 千円が含まれています。この分を除くと 37 億 6,339 万 9 千円となり、対前年度当初比 2.9%減となります。ただし、平成 20 年度 12 補正予算以降の公共事業を前倒しした分 8 億 4,278 万円を合わせると 46 億 617 万 9 千円になります。

(単位：千円)

	平成20年度へ前倒し分					平成21年度	合 計 (前倒し分+ 平成21予算)	平成20年度	差 引
	12月補正	1月補正	2月補正	3月補正	小計				
投資的経費	194,044	56,853	583,275	8,608	842,780	6,953,113	7,795,893	3,876,856	3,919,037
うち合板工場への10/10補助を除く	194,044	56,853	583,275	8,608	842,780	3,763,399	4,606,179	3,876,856	729,323
うち合板工場への10/10補助分						3,189,714	3,189,714		3,189,714

# I 明日の中津川市づくり

## I-1 景気対策を進めます

- 「100 年に 1 回の津波」といわれる金融危機に起因する不景気を乗り越えるため、昨年11月末に設置した「なかつがわ全市緊急経済対策本部」の取り組みとして、市民生活や企業活動の安心安全を図るため、平成20年度から平成21年度にかけて切れ目なく景気対策を進めます。

### 平成20年度補正予算と平成21年度当初予算における緊急景気対策の取り組み

#### 第1弾

12月補正予算 景気対策分 277,046 千円

- 公共事業の追加、前倒し 273,851 千円(特別会計含む) 中小企業金融支援 3,195 千円

#### 第2弾

1月補正予算 景気対策分 101,237 千円

- 年度内の資金繰りを考慮した小規模事業、公共事業 74 件 95,693 千円(特別会計含む)、金融支援3件 472 千円、雇用対策 4,372 千円、地産地消推進 700 千円

#### 第3弾

2月補正予算 景気対策分 798,820 千円

- 平成21年度予算が動き出すまでの間の資金繰りを考慮した中規模事業を中心に、主に平成21年度以降の前倒し事業、間ノ根活用事業、プレミアム商品券(国の 2 次補正予算に連動した予算編成、地域活性化・生活対策臨時交付金 631,660 千円の活用)

#### 第4弾

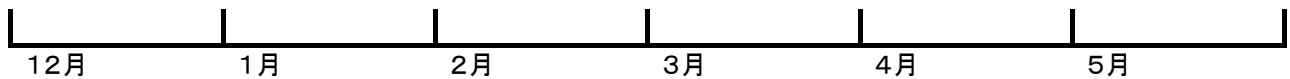
3月補正予算 景気対策分 1,427,258 千円

- 定額給付金給付事業、金融支援(中小企業小口融資制度融資枠拡大のための原資補給) ほか

#### 第5弾

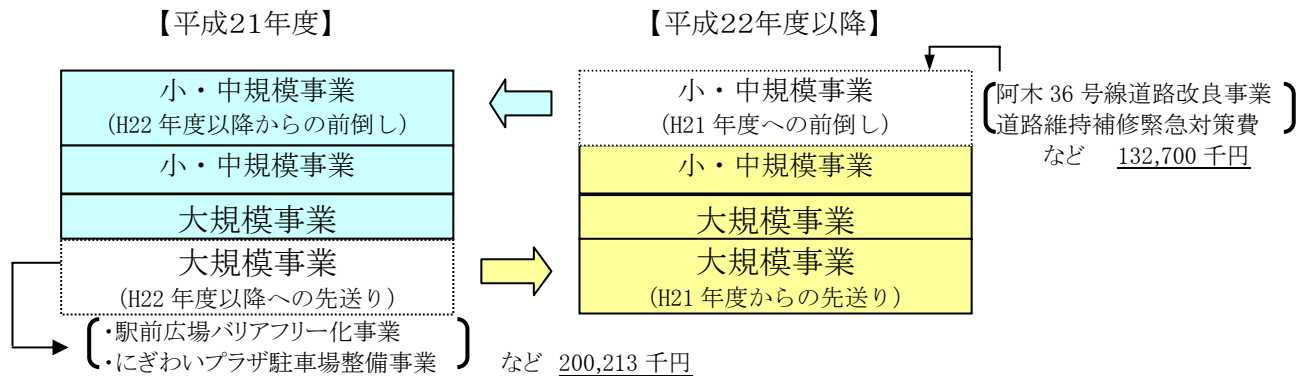
平成21年度当初予算 景気対策分 442,628 千円

- 大規模事業を先送りし、小・中規模の事業を中心に引き続き、金融支援、雇用対策、地産地消の推進



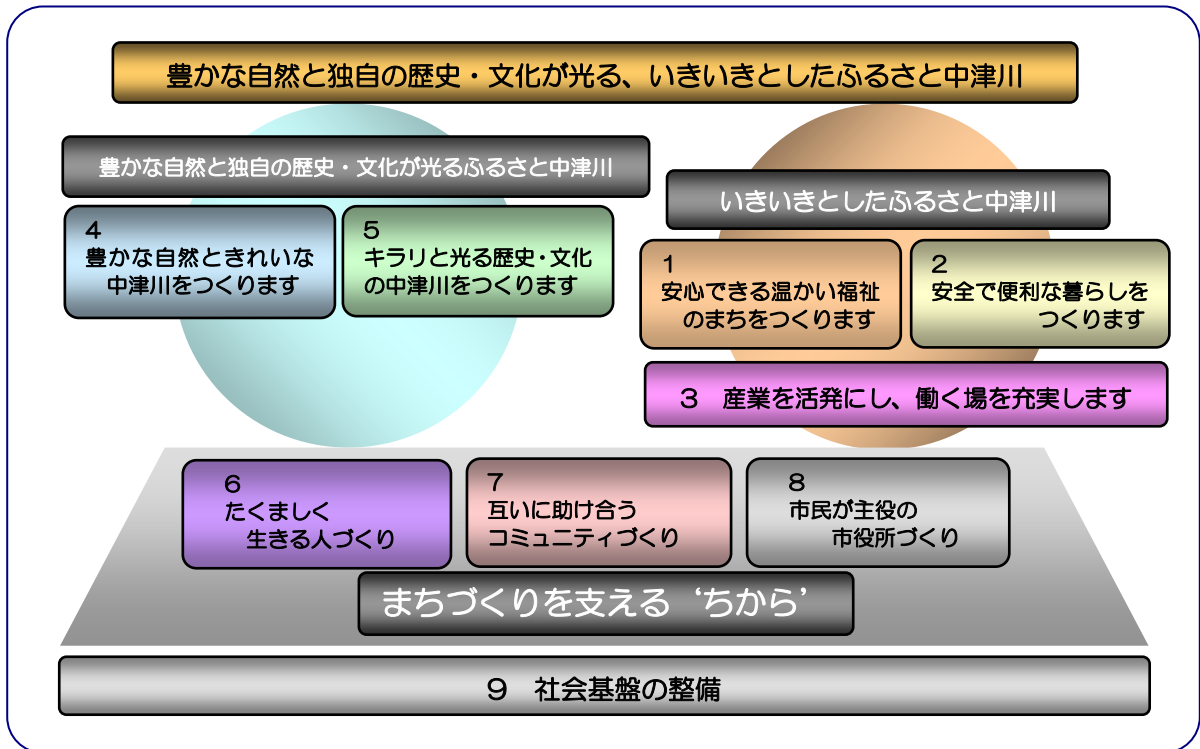
#### [平成21年度予算における公共事業による景気対策イメージ]

- 大規模事業を先送りし、小・中規模事業を前倒して実施することにより、市内事業者の受注機会を増大する。



## I-2 中期事業推進計画に基づく施策展開

- 新中津川市総合計画基本構想を具体化する事業実行計画として策定した、「中期事業推進計画」(実施期間は、平成 20 年度～平成 23 年度の 4 年間)に基づき、施策を展開してまいりますが、前記 I-1 に掲げた喫緊の課題としての景気対策を進めるための事業も含めて平成 21 年度予算に反映させました。
- この事業推進計画は、基本構想で定めるまちづくりの目標、『豊かな自然と独自の歴史・文化が光る、いきいきとしたふるさと中津川』を実現するため、9つの柱立てに沿ってそれぞれの施策(小分類)の取り組み方針及び主要な事業を施策の体系ごとに具体化し、将来都市像の実現へ向けて取り組むものです。



## I-3 市民の声に基づく優先順位付け

### ① 市政懇談会・女性懇談会・高齢者懇談会・若者懇談会・移動教育委員会

- 各地域の市政懇談会、女性懇談会、高齢者懇談会、若者懇談会や移動教育委員会を、市政や地域づくりに対するご意見やご要望等の市民の声を直接お聞かせいただく「対話の場」として位置付け、積極的に取り組んできました。

- 市政懇談会等開催状況

懇談会等の別	懇談会等の開催状況
市政懇談会	平成 16 年度から平成 20 年度 各地域 5 巡
女性懇談会	平成 16 年度(一部地域は平成 17 年度)から平成 20 年度 各地域 4 巡
高齢者懇談会	平成 20 年度 1 回
若者懇談会	平成 20 年度 1 回
移動教育委員会	平成 17 年度から平成 20 年度 各地域 4 巡 (平成 18 年度からは地区を統合して実施)

- ここでお寄せいただいたご意見・ご提案については、全て検証し実施すべき項目の洗い出しを行いました。このうち未実施の項目については、緊急性や必要性の高いものから事業化し、すでに着手

している事業についても継続事業として予算措置を行いました。

- 特に総合事務所管内では、生活道路等の維持補修に対するご意見を多くいただいております、それに迅速に対応できるよう各総合事務所長権限で執行できる予算を上乘せして配分しています。

## I-4 今日の課題に対応する施策の推進

- 地方都市である当市といえども現代に共通する重い課題を背負っており、全国的に広がっている社会問題は、市民の暮らしに大きな影響を及ぼしています。
- これらの課題に対しては、対症療法的な取り組みだけでは不十分であり、様々な分野から幅広い市民の意見や参画を得ながら横断的に施策を組み立て推進していくことが必要です。
- そのため、以下の項目を「今日の課題事業群」と位置付け、新総合計画の様々な分野に位置づけている各事業の連携を図り、事業群として効果的な推進を図ります。

### ① 人口減少を食い止める施策 3 点セット **(※詳細は 40 ページ)**

- 人口減少を食い止めるためには、「産業振興」と「住宅政策」、そして「少子化対策」の 3 点セットが必要となります。
- (1) **産業振興**
    - 具体的な政策として、積極的な工場誘致策を進め、雇用の場の確保と産業振興を図ります。
    - 中心市街地活性化基本計画に基づき具体的な施策を展開します。
    - 地産地消を進めるとともにブランド化を図り、後継者の育成に努めます。
  - (2) **住宅政策**
    - 若年UIターン者用の住宅整備を計画的に進め、若者の定住を図ります。
  - (3) **少子化対策**
    - 出生率の低下は社会保障制度など将来の社会基盤を揺るがす大きな課題ですが、当市にとっても、自立し持続したまちとして活力を維持していくうえで、少子化問題は極めて重要な課題です。
    - そのため、子育て支援、保健・医療、就労環境、U・I ターンによる若者定住、コミュニティ等の分野において、安心して子どもを生み育てていける良好な環境を整え、産業振興等まちの活力向上につなげていくための施策を推進します。

### ② コミュニティ維持のための 4 つの施策 **(※詳細は 41 ページ)**

- コミュニティを維持していくため、「教育」、「医療」、「交通」、「情報」の 4 つの施策を充実することが必要となります。
- (1) **教育**
    - 親の意見を教育現場に反映させるほか、子どもたちの生きる力を育てるため、読み書き計算の力をつけさせ、基礎学力を向上させるとともに、自然体験やふるさと教育の実施など幼児教育・小学校低学年教育の充実に努めます。
  - (2) **医療**
    - 地域保健医療計画に基づいて地域医療連携を推進するとともに、引き続き医師・看護師の確保に努めます。
  - (3) **交通**
    - 交通弱者対策として、コミュニティバスの運行を充実し、利便性の高い交通体系を構築します。

#### (4) 情報

- 情報通信ネットワークの整備を進めるとともに、市民ニーズに基づく行政サービスオンライン化の推進を検討します。

### ③ 環境にやさしいライフスタイルへの変革（全市環境 ISO 運動）（※詳細は 41 ページ）

- 地球環境は年々悪化しており、人類共通の緊急課題となっています。地球環境問題の一番の課題は、地球温暖化対策です。この対策には産業構造の変革はもちろん、私たち市民生活も大きな影響を与えており、環境にやさしいライフスタイルに変えていく必要があります。
- そのため、省資源や省エネルギーなど環境にやさしいライフスタイルへの変革を「全市環境 ISO 運動」として提案しながら、安全・安心な低炭素社会の実現を目指し、環境にやさしくできる施策を実施していきます。

### ④ 中心市街地活性化対策

- 昨年7月に国からの認定を受けた「中津川市中心市街地活性化基本計画」に基づく計画の実行に取り組めます。

### ⑤ 広域の拠点づくり

- リニア中央新幹線開業に向けて動き始めている中、二リア中央新幹線停車駅の県内1駅誘致への第1ステップとして、中央自動車道、濃飛横断道などの交通の接点を活かした、広域の拠点づくりを進めます。

## I-5 合併成功への道筋

- 合併5年目となる平成21年度は、それぞれの地域の持つ多様性を活かすために、総合事務所やコミュニティセンターが市民と力を合わせて地域の活力を高めて、合併の成功に向け飛躍していく年です。
- 豊かな自然や街道文化の特徴を生かし、「多様性のなかの統一」の理念で、「中津川市ここにあり！」と全国に誇れるような「いきいきと光る中津川市」を創っていきます。
- 地域の課題を解決し、また、合併前から培われてきた地域の多様性を伸ばし活力を高めていくため、それぞれの地域がまちづくりの方向性を明らかにし、それに向かって進んでいく年として、地域の皆さんと市役所が力を併せて地域づくりに取り組んでいきます。
- そのためには、地域の基礎単位である区・町内会・消防団やNPO・ボランティア団体の活動、生涯学習・文化・伝統芸能・スポーツ・環境保全などの幅広い活動を支援し、コミュニティの維持、発展を図ります。
- 市役所はこうした地域の皆さんの活動を支える仕掛けづくりやお手伝いを行っていますが、そのために、従来の「5万6千人の旧中津川市役所」のシステムから脱却を図り、総合事務所、コミュニティセンターも含めて8万6千人の市民サービスを真に担うことのできる「8万6千人の市役所」システムを構築していきます。

## I-6 サービスレベルと地域間バランス（※詳細は 42 ページ）

- 合併までは一つの自治体としてそれぞれまちづくりを進めてきたことから、ハード面では学校や保育園、道路や下水道などの社会基盤の整備レベルがそれぞれ異なっており、また、ソフト面では、現在においても団体や地域への支援方法などにばらつきがあります。
- こうしたサービスレベルの不均衡を是正するため、事業推進計画では「多様性」と「統一」の2つの側面から捉えつつ、地域における優先度に配慮しつつも市全体を見渡した優先順位付けを行いました。

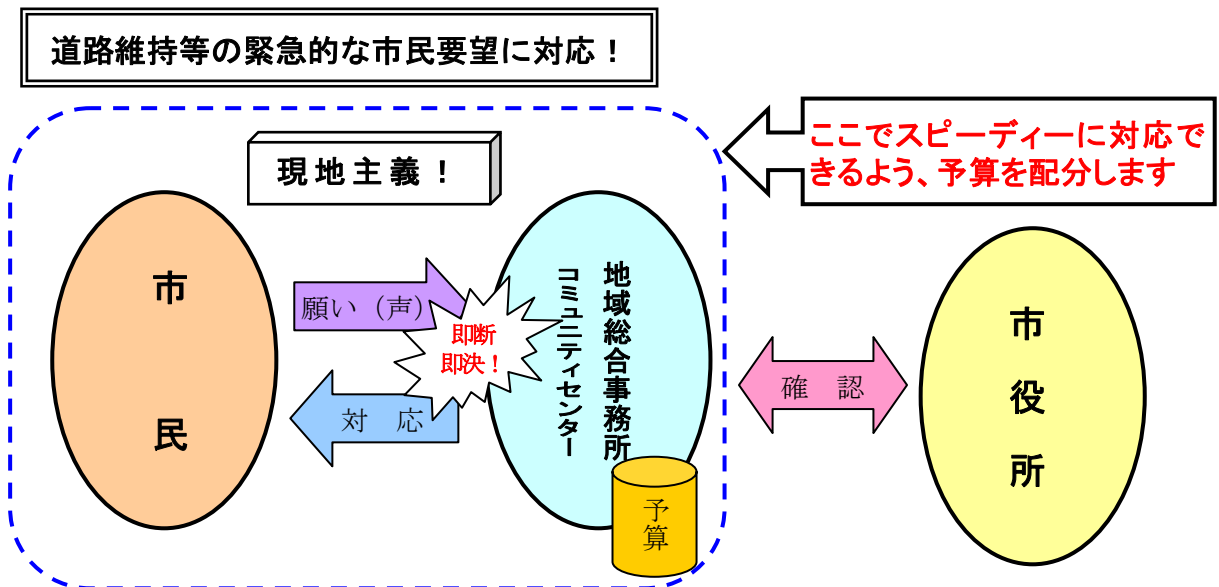
- 優先順位付けの結果、地域によっては特定の分野において事業が少なくなるなど均衡を欠くような場合については、他の分野で調整し全体でバランスをとるという手法を採るなど、**地域間バランスにも配慮**しました。

### I-7 地域振興特別予算 **(※詳細は 44 ページ)**

- 地域振興特別予算は、各地域の特色ある活動を継続し、地域色が強く今後も守り続けることが必要な事業など地域の多様性を保つための予算です。
- 各地域の「多様性」にかかわるものとして、「独自のイベント」「独自の文化」「新しいまちづくり・産業おこし」「コミュニティの形成」「居場所と出番づくり」に区分して計上しました。
- 昨年度と同様に事業の実施状況について、「独自性」「参画度」「集客性」「産業経済への関与度」の面からゼロベースで検証したうえで予算を計上しました。
- その結果、平成 21 年度は 57 事業 94 件となりました。

### I-8 現地主義でスピーディーに対応する総合事務所・コミュニティセンターを目指して

- 市役所は「市民の願いを実現する」という目的を達成するための組織です。そして、その声にはスピーディーに対応することが求められます。
- しかし、即断即決の権限が各総合事務所になれば、その都度本庁に確認せねばならず、必要なときに必要な対応が取れない・・・ということにもなります。これでは「市民の願いを実現する」ことはできません。
- 平成 22 年度末の職員 850 人体制に向け、市役所の組織のあり方を見直し、各総合事務所所長には、市民の声に即断即決できるようにし、そのための予算を配分することで、少しでもスピーディーに「市民の願いを実現」できるようにしていく必要があります。
- そこで平成 21 年度予算でも引き続き、道路維持関係予算について例年各総合事務所に配分している通常対応予算に緊急対応に係る予算を上乗せして配当します。なお、施設の維持管理費(市営住宅、教員住宅、学校施設、文化スポーツ施設、観光施設など)についても、拠点となる総合事務所(坂下、福岡)に予算を配分します。



## Ⅱ 健全財政の推進

### Ⅱ－1 市の経営計画

中津川市の経営方針となる行財政運営の基本的な考え方は、大きく分けて

- ① 新しい中津川市役所を創っていく「行政改革」
- ② 健全財政の推進を図るための「財政計画」
- ③ 明日の中津川市づくりを進める「新総合計画」及びその「事業推進計画」

からなります。

この経営方針を堅持し、合併特例債、地方交付税等合併による優遇措置のある合併後 10 年までの間に出来るだけ高いレベルの行政サービスを実現するよう、必要な事業を実施し、合併後 11 年以降も自立的で持続的な、夢の持てる中津川市を実現していきます。

### Ⅱ－2 行政改革

財政状況の大変厳しいなか、事業推進計画を確実に実行していくためには、今から市役所改革に取り組み行政改革を推進し、健全財政を確立することが必要です。

当市が今後も自立的で持続的な中津川市であり続けるため、行政改革の目標を「市民が主役となる地方分権型の行政」、「8 万 6 千人の市民のサービスを担う新たな市役所システムへの変革」としています。この目標を実現するため、「市役所力のアップ」と「事業のスクラップ、事務のスリム化」に引き続き取り組んでいきます。

### Ⅱ－3 財政計画

収支バランスを将来にわたって保ち、健全な状態で施策や事業を推進するための「中期財政計画」(市の財政全般の計画)と、借金返済額を長期的にコントロールするための「公債費負担適正化計画」(市の借金とその返済計画)により、健全財政の推進を図ります。

#### ① 見直し後の財政計画の内容

財政見直しでは、家計の収入にあたる歳入は、合併により交付税が増額される期間が終了する平成 27 年度以降、地方交付税が大幅に減少します。一方で、家計の支出に当たる歳出は徐々に減少しますが、大幅な減少項目はないため、収支で見ると歳出が歳入を大幅に上回り、いわゆる赤字になってしまいます。

そこで、市の将来像を見据え、**将来も収支バランスの取れた財政運営**を目指し、**計画的な財政運営により健全財政を推進**するため、次の 2 つの視点から下表の財政計画を作成しました。

- ・ 施設の「整備型財政」から「活用型財政」への移行を想定した財政計画
  - 平成 26 年度までに必要な施設整備を終え、平成 27 年度以降は、公共施設を長期にわたり維持・活用し、市民の方にサービスを提供してまいります。
  - 将来財政の硬直化を招かないよう、市債の割合を大幅に削減し、借金残高を減らします。
- ・ 行政改革による徹底した歳出削減
  - 平成 26 年度までに人件費・公債費・行政運営費を中心に徹底した歳出削減を行います。

**計画期間（平成20年度～平成32年度）の財政計画**

	平成20年度 計	前年 度比	平成20年度 当初予算	計画比	平成21年度 計	前年 度比	平成21年度 予	計画比	平成22年度	前年 度比	平成23年度	前年 度比	平成26年度	23年 度比	平成29年度	26年 度比	平成32年度	29年 度比
<b>歳入</b>	<b>339</b>	<b>▲18</b>	<b>345</b>	<b>6</b>	<b>343</b>	<b>4</b>	<b>378</b>	<b>35</b>	<b>340</b>	<b>▲3</b>	<b>329</b>	<b>▲11</b>	<b>325</b>	<b>▲4</b>	<b>280</b>	<b>▲45</b>	<b>262</b>	<b>▲18</b>
市税	106	2	106	0	106	0	100	▲6	106	0	106	0	106	0	106	0	106	0
地方交付税	104	▲3	108	4	102	▲2	110	8	100	▲2	98	▲2	92	▲6	72	▲20	53	▲19
国からの交付金等	27	▲2	28	1	27	0	31	4	27	0	27	0	27	0	27	0	27	0
市債（施設整備分）	26	2	20	▲6	26	0	17	▲9	28	2	23	▲5	21	▲2	6	▲15	6	0
その他	76	▲17	83	7	82	6	120	38	79	▲3	75	▲4	79	4	69	▲10	70	1
<b>歳出</b>	<b>339</b>	<b>▲18</b>	<b>345</b>	<b>6</b>	<b>343</b>	<b>4</b>	<b>378</b>	<b>35</b>	<b>340</b>	<b>▲3</b>	<b>329</b>	<b>▲11</b>	<b>325</b>	<b>▲4</b>	<b>280</b>	<b>▲45</b>	<b>262</b>	<b>▲18</b>
義務的な経費	234	▲4	227	▲7	238	4	230	▲8	235	▲3	224	▲11	220	▲4	201	▲19	185	▲16
人件費	77	▲7	77	0	81	4	78	▲3	74	▲7	69	▲5	71	2	66	▲5	61	▲5
公債費	59	▲3	59	0	58	▲1	57	▲1	61	3	63	2	56	▲7	43	▲13	35	▲8
扶助費	35	0	36	1	35	0	38	3	35	0	36	1	37	1	38	1	39	1
繰出金（義務的）等	63	6	55	▲8	64	1	57	▲7	65	1	56	▲9	56	0	54	▲2	50	▲4
その他の経費	105	▲14	118	13	105	0	148	43	105	0	105	0	105	0	79	▲26	77	▲2
行政運営費	63	▲6	79	16	63	0	78	15	63	0	63	0	63	0	60	▲3	58	▲2
施設等整備費	42	▲8	39	▲3	42	0	70	28	42	0	42	0	42	0	19	▲23	19	0
<b>歳入－歳出</b>	<b>0</b>		<b>0</b>		<b>0</b>		<b>0</b>		<b>0</b>		<b>0</b>		<b>0</b>		<b>0</b>		<b>0</b>	

財政計画と平成21年度予算の乖離の主な原因は、以下のとおりです。臨時的な事項を除けば歳入歳出計画全体で、大きな狂いは発生していません。

- 【歳入】  
 市税：景気悪化に伴う法人市民税の減▲2億6千万円、固定資産税の評価替えに伴う減▲2億3千万円  
 地方交付税：普通交付税で地方財源の充実、地方雇用創出推進費として別枠で1兆円が確保されたことによる増7億1千万円  
 国からの交付金等：地方交付税の足りない分を自治体に借金させ、将来の返済時に交付税で全額負担する「臨時財政対策債」の増5億8千万円  
 市債（施設整備分）：大型公共事業を先送り・見直し、中小規模の事業を前倒ししたことによる減  
 その他（国庫補助金）：加子母の合板工場に対する県からの10/10の補助金を市の予算を通して支出することによる増31億9千万円

- 【歳出】  
 人件費：早期退職者の増による減  
 扶助費：乳幼児医療費制度拡大に伴う増約7千万円、公立、私立保育園の未満児保育、障がい児保育に対する運営費の増約1億4千万円  
 繰出金：老人保険制度から後期高齢者医療制度への移行に伴う繰出金の減▲4億7千万円  
 行政運営費：後期高齢者療養給付費負担金の増6億6千万円、病院事業会計への負担金の増3億8千万円  
 施設等整備費：加子母の合板工場に対する県からの10/10の補助金の増31億9千万円

**② 歳入計画**

- 【市税】産業振興などによる税収確保を図り、平成 20 年度規模の維持を見込みました。  
 【地方交付税】年々減少し、平成 27 年度以降は合併特例期間が終了するため、合併による増額分も段階的な減少を見込みました。  
 【国からの交付金等】概ね現状維持を見込みました。  
 【市債】合併特例債の利用が可能な平成 26 年度までに必要な施設整備を終え、以降は毎年 6 億円と見込みました。

**③ 歳出計画**

- 【人件費】平成 22 年度末に 850 人体制とし、その後徐々に減じていくと見込みました。  
 【公債費】平成 26 年度まで積極的に繰上償還に取り組み、減額を見込みました。  
 【繰出金】通常の繰出し分に加え、下水道事業、病院事業に対し、一般会計で合併特例債を借りて繰り出す分を見込みました。  
 【行政運営費】外部評価委員の意見を反映するなど、徹底した削減に努め、平成 20 年度で前年比 6 億円減と見込みました。  
 【施設整備費】平成 26 年度までは毎年 42 億円、以降は 19 億円を確保する見込みとしました。

**④ 財政規模**

現在の中津川市の財政規模は、合併による人件費の増加や合併前の公共事業に伴う借金返済額がピークにあること、そして下水道事業会計などへの繰出金が多いことなど、義務的経費が高んでおり、全国の類似団体と比較しておよそ 1.2 倍となっています。  
 財政計画における合併 15 年、20 年後の財政規模は、合併特例措置が終わる地方交付税や合併特例債の活用事業の終了による大幅な歳入歳出の減額、施設の整備型から活用型財政への移行に伴う人件費、公債費の減少を考慮しました。

## Ⅱ－４ 公債費負担適正化計画

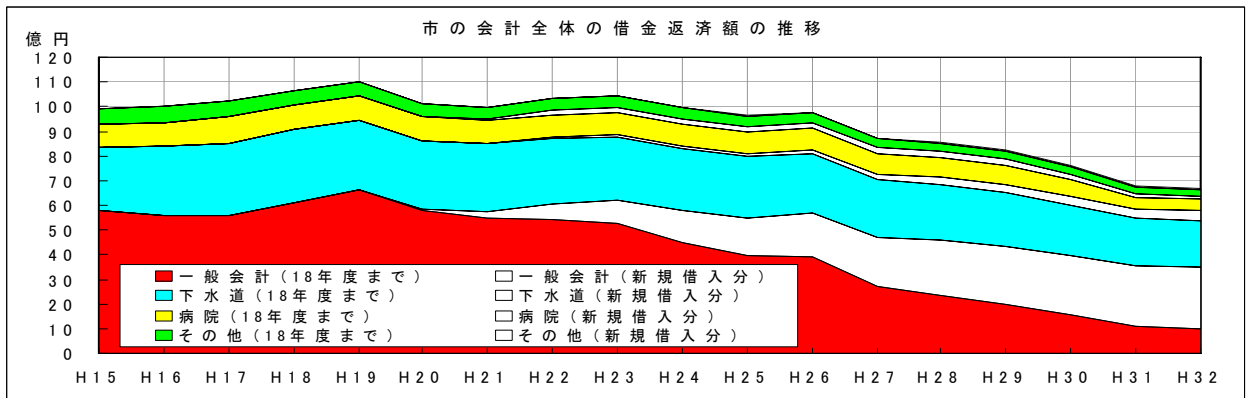
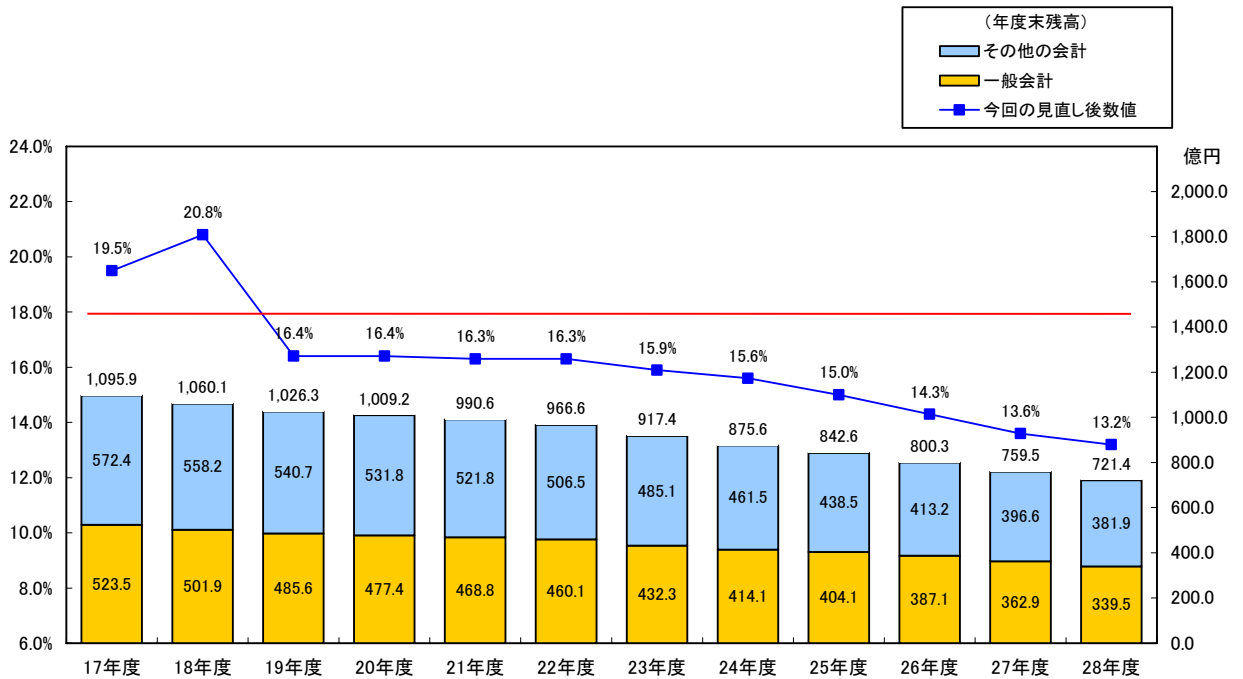
平成 19 年度に見直した計画においては、実質公債費比率が「借金をするのに県知事の許可が必要となる18%」を下回る年度を平成28年度としていましたが、国が実質公債費比率の算出ルールを変更したことにより平成19年度に16.4%と、18%を下回ることになりました。

変更点① 都市計画税のうち借金返済に使った分を借金返済額から差し引く

変更点② 病院事業会計への繰出金のうち元金返済に使った部分を借金返済額から差し引く

しかしながら、前年度と同じ計算方法で算出した場合は横ばいであり、県内の市で 2 番目に高い数値となっています。依然として歳入に占める借金返済額や将来世代が負担する借金残高の割合が高い状態は続いており、今後も公債費負担適正化計画に従い、以下の取り組みを行うことにより健全財政の推進を図ります。

実質公債費比率の推移



- ① 毎年の起債額を元金償還額以内とします。(借金を確実に減らすために返済額以上の借金はしません。)
- ② 国や県の補助金をより多く獲得します。
- ③ 交付税算入率の高い有利な地方債を活用します。(合併特例債や辺地対策事業債、過疎対策事業債など有利な地方債を活用します。)
- ④ 特別会計・企業会計の自立化を図ります。(公営企業の自立化を目指し、経営健全化、独立採算制を推進し、繰出金の縮減を図り、準元利償還金を抑制します。)
- ⑤ 繰上償還を行います。(利率の高いものなどを優先して行います。)

## 健全財政推進の関連資料

## ■行政改革

市民による行政評価委員会による外部評価結果の予算反映状況

(単位:千円)

	外部評価	予算反映状況							
		廃止したもの		廃止には至らないものの縮小・節減したもの		廃止はせず、現状維持又は増額のもの		予算反映合計	
		件数	(※1)金額	件数	(※1)金額	件数	(※1)金額	件数	(※1)金額
廃止	17	2	▲ 1,986	9	▲ 4,470	6	14,864	17	8,408
廃止	3	0	0	3	▲ 2,496	0	0	3	▲ 2,496
休止	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整理・統合	11	2	▲ 1,986	5	▲ 1,956	4	14,696	11	10,754
民間団体に委ねる	3	0	0	1	▲ 18	2	168	3	150
縮小	50	2	▲ 4,750	30	▲ 42,259	18	71,305	50	24,296
合計	67	4	▲ 6,736	39	▲ 46,729	24	86,169	67	32,704

※1 金額は、平成20年度当初予算額に比べ減少した額

※2 外部評価の67事業は、19年度末で出された廃止・縮小の129事業のうち、20年度で既に廃止したもの・制度改正によるもの・他の事業に統合したもの60事業と景気対策のための事業2事業を除いたものです。

※3 増額となった主なもの

①乳幼児医療扶助事業:29,560千円

②新エネルギー活用推進事業:12,026千円

## 市民参加による経費削減状況

(単位:千円)

活用事業	21年度予算額	市民力活用による節減額	備考
加子母地区林護隊舎運営事業(木製デッキ撤去)	0	500	
市民による子どもの通学路パトロールを行う。	0	測定不能	
市民を対象に防災に対する意識、知識、技能を習得した防災士を育成し、防災力の強化を図る。	150	測定不能	
自主防災リーダー養成研修などを行い、自主防災組織を育成し防災力の強化を図る。	100	測定不能	
市民による道路、側溝整備のための原材料支給と重機借上げ	9,000	5,850	
市民による凍結防止対策のための高木伐採	3,000	1,960	
市民による農道、水路等整備のための原材料支給	6,900	4,140	
市民による伝統芸能の保存継承活動に対する支援を行います。	2,743	測定不能	
合計	21,893	12,450	

職員人件費の削減状況

(単位:千円,人)

	21年度当初予算額		20年度当初予算額		差引		20年度比 (%)	備 考
	金額	職員数	金額	職員数	金額	職員数		
職員人件費(二役除く)	6,919,887	838	6,809,482	879	110,405	▲ 41	101.6	
給料	3,234,067		3,413,622		▲ 179,555		94.7	
手当	2,760,265		2,465,691		294,574		111.9	
うち退職手当	824,523		431,376		393,147		191.1	
共済費等	925,555		930,169		▲ 4,614		99.5	

※1 給料で約1億8千万円の削減となりますが、退職者の増加により退職金が約3億9千万円の増額となるため全体で約1億1千万円の増となります。

旅費の日当全廃による削減額

職員提案により旅費の日当を廃止します。

(単位:千円)

	日当削減額	備考
一般会計	8,323	
全会計	9,395	

負担金補助及び交付金の削減状況

(単位:千円)

	21当初予算額	20当初予算額	差 引	備 考
負 担 金	291,059	295,495	▲ 4,436	
補 助 金	668,760	630,767	37,993	
交 付 金	534,108	537,504	▲ 3,396	
合 計	1,493,927	1,463,766	30,161	

補助金が増額となった主な理由

- ①景気対策としての金融支援関係 8,159千円  
  中小企業小口融資などの保証料、利子に対する補助
- ②住宅の耐震化推進関係 41,972千円  
  一般住宅の耐震補強工事に対する補助

単年度限りのような臨時的な性格のもの、市の会計間の内部取引的なものは、除きました。

【負担金】後期高齢者療養給付費負担金、病院事業会計・水道事業会計、県営事業負担金等は除きました。

【補助金】 企業誘致に係る奨励金等は除きました。

【交付金】 選挙交付金は、除きました。

※差引欄の合計30,161千円には、外部評価による予算反映額▲21,383千円が含まれています。

## ■歳入の確保

## 自主財源の増加のための産業振興事業

(単位:千円)

産 業 振 興 策	21年度予算額	備考
リサイクルボックス設置事業	2,310	県産材を利用したリサイクルボックスの導入
企業立地強化事業(企業立地・事業所設置・雇用促進奨励金)	87,775	市内に事業所を新設、増設、移設する事業者に奨励措置を行い、企業誘致・雇用対策を推進する。
合板工場整備事業	3,333,744	加子母地区に合板工場を誘致することで間伐材利用拡大による林業支援を行い、地域の活性化、雇用の場の確保を図る。
中山道整備事業	69,100	統一した中山道の舗装やトイレ・休憩場所等の整備を図り、中山道への観光客の誘致を図る。
農業者確保事業	2,295	新規就農者への総合的な支援を実施し就農しやすい環境を整える。
ぎふクリーン農業推進事業(栗生産基盤整備対策)	1,655	栗樹園地の新改植を行い産地化を図る。
地産地消推進事業	7,832	飛騨美濃ふれっしゅ直行便や販路拡大支援、六斎市、およびよう朝市実施等により、中津川市の農産物PRと地産地消の推進を図る。
ファーマーズマーケット整備事業	1,507	地産地消を推進するため、国道257号沿いに市内農業者による自主参加型農産物直売所を設置して、安全安心な農産物の販路拡大に努める。
ミネラル野菜ブランド化確立事業	1,398	ミネラル栽培により野菜の付加価値を高め、ブランド化を図る。
畜産担い手育成総合整備事業	30,751	市営石休牧場の草地・施設を改修し、畜産農家の支援を行い、畜産振興を推進する。
名古屋城本丸御殿復元支援事業	2,600	名古屋城本丸御殿復元を期に中津川市の木材・建築・木工産業のPRを行う。
立木乾燥実証実験支援事業	1,256	立木乾燥による木材付加価値を高め、東濃檜のブランド化と地域木材産業の活性化を図る。
小学校の児童用机・椅子導入促進事業	2,625	県産材を利用した机、椅子の導入
中学校の生徒用机・椅子導入促進事業	2,363	県産材を利用した机、椅子の導入
合 計	3,547,211	

## 新たな国・県等の補助金等の獲得状況

(単位:千円)

補 助 制 度 名	事 業 名	補助金額
新法移行緊急経過措置事業費(県支出金)	自立支援給付事業 (通所サービス利用促進費)	2,550
妊婦健診事業費(国庫支出金)	母子保健事業(妊婦健診事業)	15,750
住宅・建築物安全ストック形成事業費(国庫支出金)	保育園耐震補強・改修事業(小鳩保育園)	12,332
循環型社会形成推進交付金事業(国庫支出金)	新衛生センター建設事業	10,926
自然公園施設整備事業補助金(県支出金)	自然公園維持管理費(小秀山バイオトイレ)	12,500
街なみ環境整備事業費(国庫支出金)	景観形成推進事業費	2,037
住宅・建築物安全ストック形成事業費(国庫支出金)	財産管理事務費(付知総合事務所移転に伴う公民館耐震補強実施設計委託)	1,124
ふるさと雇用再生特別基金事業費(県支出金)	農産地等再生推進事業	19,470
緊急雇用創出事業費(県支出金)	里山景観保全事業 他5件	36,891
(※1)簡易水道再編推進事業(国庫支出金)	山口地域簡易水道遠方監視設備整備事業	28,500
合 計		142,080

(※1)簡易水道会計

## 有利な地方債の活用状況

## 一般会計分

(単位:千円)

地方債名	21年度		20年度		差 引
	当初予算額	起債額に占める割合	当初予算額	起債額に占める割合	
起債総額	3,303,500	-	3,029,800	-	273,700
うち合併特例債	1,332,600	40.3%	1,521,700	50.2%	▲ 189,100
うち辺地債	52,500	1.6%	176,400	5.8%	▲ 123,900
うち過疎債	111,400	3.4%	63,900	2.1%	47,500
合併特例債、辺地債、過疎債合計	1,496,500	45.3%	1,762,000	58.1%	▲ 265,500

## 合併特例債

(単位:千円)

事業名	事業費	合併特例債	備考
保育園耐震補強・改修事業(落合保育園)	5,000	4,700	
坂下総合体育館整備事業	211,919	186,900	
公共下水道事業(坂本処理区)	1,381,640	366,300	繰出金
污水处理施設共同整備事業(ミックス)	27,600	6,200	繰出金
坂本114号線道路改良工事	74,000	28,500	
中津485号線道路改良工事	180,000	171,000	
鳩吹～町切線道路新設工事	52,000	49,400	
松源寺～大平線道路改良工事	21,000	19,900	
坂本126号線道路改良工事	18,000	17,100	
桃山交差点に伴う関連道路改良工事	14,500	13,700	
五ッ峯～中畑線道路改良工事	24,000	22,800	
松源寺～大西線道路改良工事	55,000	52,200	
加子母173号線改良工事(合板工場関連)	154,757	104,200	
UIターン者用住宅整備工事(加子母)	110,659	66,400	
情報通信ネットワーク整備事業	380,815	211,500	
観光施設整備事業(小秀山バイオトイレ)	25,000	11,800	
合 計	2,735,890	1,332,600	

## 辺地債

(単位:千円)

事業名	事業費	辺地債	備考
宮脇～矢平線道路改良工事	43,000	43,000	
神ノ木～杉ヶ平線道路改良工事	6,000	6,000	
一の谷林道総合改良工事	7,000	3,500	
合 計	56,000	52,500	

## 過疎債

(単位:千円)

事業名	事業費	過疎債	備考
山口20号線道路改良工事	15,210	15,200	
県営農免道整備事業(ふるさとつばき街道)	59,125	59,100	
中山道整備事業	69,100	37,100	
合 計	143,435	111,400	

## Ⅲ 平成 21 年度予算における目玉事業

※下表中の取り組み項目横の数字「-〇〇」は、個別の事業を掲載したページを示します。

### 景気対策

- **中小企業等への金融支援** 中小企業、農業者、勤労者に対する信用保証料又は融資利息の補給など-20
- **公共事業** 小規模で経済効果が即時現れるものを可能な限り地元業者に-20
- **地産地消運動の推進** ファーマーズマーケット整備、間ノ根観光栗園整備事業など-20
- **雇用対策** 国の 2 次補正予算を財源とする県補助金を活用した雇用対策-21

### いきいきとしたふるさと中津川

#### 1 安心できる温かい福祉のまちをつくります

- **障害者や高齢者等がいいきき暮らせる社会づくり**
  - 地域療育推進事業 -21
  - 障害者雇用促進事業 -21
  - 認知症高齢者グループホーム整備助成 -22
  - 妊婦さん応援事業 -22
- **安心して子育てができるまちづくり**
  - 放課後の居場所づくり「学童保育所の運営支援」 -22
- **健康で明るい暮らしづくり**
  - 公立病院医師・看護師確保事業 -23

#### 2 安全で便利な暮らしをつくります

- **安全な暮らしの確保**
  - 防災情報の多重化 -23
  - 小学校及び公共施設に AED を配置 -24
- **便利な暮らしづくり**
  - 道路維持補修要望に対する緊急対策 -26
  - コミュニティバス・自主運行バス運行事業 -26
  - 情報通信ネットワークの整備 -26
  - UIターン者用住宅の建設 -27

#### 3 産業を活発にし、働く場を充実します

- **製造業の振興と新たな産業の創出**
  - 企業立地強化事業 -28
  - 雇用対策事業 -28  
(働く人材と企業の橋渡し・若者雇用の促進)
- **地場産業の振興**
  - 産直住宅建設支援事業 -28
  - 合板工場整備事業 -29
- **農業・林業・畜産業の振興**
  - 畜産担い手育成総合整備事業 -30
- **商業と観光の振興**
  - 中小企業小口融資制度事業 -30

### 豊かな自然と独自の歴史・文化が光るふるさと中津川

#### 4 豊かな自然ときれいな中津川をつくります

- **循環型社会の構築**
  - 省資源の推進(ゴミの減量、リサイクルの促進) -30
  - 住宅用太陽光発電システム設置整備事業 -31
- **豊かな自然の保全と活用**
  - 下水道整備事業 -31

#### 5 キラリと光る歴史・文化の中津川をつくります

- **歴史・文化を大切にしたいまちづくり**
  - 芸能文化・人づくり事業 -32
  - 世界遺産登録に向けての取り組み -32
- **多様な文化とのふれあいの促進**
  - ウォーキングの道づくり事業の推進 -33

### まちづくりを支える‘ちから’

#### 6 たくましく生きる人づくり

- **子どもたちの生きる力を育てる教育の推進**
  - 特別支援指導助手配置 -33
  - 学校・保育園大規模改修補強整備 -33
- **スポーツ・生涯学習の推進**
  - 坂下総合体育館耐震改修事業 -34
  - 生涯学習の推進「私が講師！事業」の実施 -34

#### 7 互いに助け合うコミュニティづくり

- **コミュニティの形成**
  - がんばる地域サポート事業 -34
  - 苗木コミュニティセンター整備事業 -35

#### 8 市民が主役の市役所づくり

- **行政改革の推進**
  - 行政改革委員会の設置 -35
  - ロードマップによる行政改革の推進 -36
  - 行政評価事業 -36

#### 9 社会基盤の整備

- **広域の拠点づくり**
  - リニア中央新幹線停車駅の県内 1 駅誘致を視野に入れた広域の拠点づくりを進めます-37

## Ⅳ 景気対策

### 中小企業等への金融支援

【拡大事業】 中小企業小口融資信用保証料・融資利子補給 …………… 105,410 千円

融資のための原資を 53,500 千円から 98,000 千円に 44,500 千円増額し、融資枠を総額 490,000 千円に拡大するとともに、信用保証料の全額及び融資利子のうち 1 年分を全額補給します。

【継続事業】 アグリサポート資金信用保証料・融資利子補給 …………… 995 千円

JAの「アグリサポート資金」融資に係る信用保証料の全額及び融資利子のうち 1 年分を全額補給します。

【継続事業】 園芸農家緊急支援対策資金融資利子補給 …………… 408 千円

JAの「園芸農家緊急支援対策資金」融資に係る融資利子のうち 1 年分を全額補給します。

【継続事業】 経済変動対策緊急生活資金貸付保証料・融資利子補給 …………… 126 千円

岐阜県が創設した「経済変動対策緊急生活資金」の平成 20 年度中の融資に係る保証料及び融資利子のうち平成 21 年度に支払うべき金額を補給します。

【拡大事業】 奨学金貸付事業 …………… 141,189 千円

景気対策として、従来の貸与枠とは別に緊急貸与枠を設け、貸与申込を随時受け付けます。

### 公共事業

【継続事業】 公共事業の発注 …………… 132,700 千円

景気対策として、市民生活に身近な社会基盤の維持・修繕などにより小規模公共事業に係る市内事業者の受注機会を増大します。

【継続事業】 道路維持応急対応事業（前記公共事業の発注の内書き） …………… 10,000 千円

景気対策として、生活道路の維持・応急修繕などにより小規模公共事業に係る市内業者の受注機会を増大します。

### 地産地消推進

【新規事業】 ファーマーズマーケット整備事業 …………… 1,507 千円

景気対策のほか、地産地消を推進するため、国道 257 号沿いに市内農業者による自主参加型農産物直販所を設置して、安全安心な農産物の販路拡大に努めます。

【継続事業】 間ノ根観光栗園整備事業 …………… 23,370 千円

景気対策のほか、地産地消を推進するため中津川市の特産品である栗をテーマに「観光栗園」を整備し、産業の振興につなげます。

## 雇用対策

【新規事業】 緊急雇用対策事業 ……………56,361 千円

景気対策として、国の平成 20 年度第 2 次補正予算に基づく交付金を財源とする県補助金を活用して、遊休農地等の解消や里山保全を進めるため雇用対策を実施し、約 90 人の雇用を創出します。

※地産地消推進の「間ノ根観光栗園整備事業費」23,370 千円を含んでいます。

## 【主な事業内容】

区 分	事 業 計 画	事業費	雇用人数
緊急雇用創出事業	里山景観保全事業	3,900 千円	16 人
	里山林道環境保全事業	16,643 千円	7 人
	県立自然公園等環境整備事業	6,435 千円	46 人
ふるさと雇用再生特別基金事業	農産地等再生推進事業	19,470 千円	8 人

## V 主要事業の概要

## いきいきとしたふるさと中津川

## 1 安心できる温かい福祉のまちをつくります

## 障がい者や高齢者等がいきいき暮らせる社会づくり

## 障がい者福祉の推進

【継続事業】 障がい児等の発達支援「地域療育推進事業」……………14,307 千円

障がいや発達のつまずきを早期に発見し、関係機関で子どもの理解と適切な支援に関する情報を共有し、連携の下、継続的な発達支援を行います。

【新規事業】 雇用・就業の促進「障害者雇用促進事業」……………600 千円

企業が就職を希望する障がい者を3ヶ月間雇用(試行的雇用)し、常用雇用へのきっかけづくりになるよう支援します。

【新規事業】 雇用・就業の促進「訓練給付自己負担助成事業」……………1,674 千円

障がい者が自立するために就労事業所へ通所する際の利用者負担分を助成します。

## 高齢者福祉の推進

【継続事業】 人権と財産を守る「成年後見センター運営委託」……………10,760 千円

認知症や精神・知的な障がいなどにより判断能力が不十分な方の権利擁護のため、恵那市と共同で成年後見センターの運営を委託します。

【継続事業】福祉施設の拡充「認知症高齢者グループホーム整備助成」……………33,000 千円

第4期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、事業所が計画した認知症高齢者グループホーム整備に対して助成します。



【写真:平成 20 年度に整備されたグループホーム】

## 安心して子育てができるまちづくり

### 子育て支援の充実

【新規事業】母子保健の充実「こんにちは赤ちゃん事業」…………… 244 千円

保健師や各地区の主任児童委員がすべての乳幼児を訪問することにより出生後の育児環境を把握し、育児相談・虐待予防の支援をします。

【拡大事業】母子保健の充実「妊婦さん応援事業」……………49,419 千円

現在、妊婦健康診査受診費用に対する助成を 6 回から 14 回に拡大し、母子の健全育成を図ります。

【新規事業】耐震化促進「保育園耐震補強・改修事業」……………43,205 千円

園児の安全を確保するとともに保護者が安心できるよう、耐震化未実施園舎を改修整備します。

- ・小鳩保育園の大規模改修補強工事を行います。
- ・次年度以降の整備に備え、落合保育園の調査設計を行います。

【継続事業】少子化対策「乳幼児等医療費扶助事業」…………… 255,217 千円

小学 6 年生までの通院医療費及び中学 3 年生までの入院医療費について、社会保険法に基づく自己負担額相当分(所得制限なし・入院時の食事負担額は対象外)を助成します。

【継続事業】放課後の居場所づくり「学童保育所の運営支援」……………50,851 千円

保護者が安心して働くことができ、児童の健全な育成が図れるよう、学童保育所(放課後児童クラブ)の運営をサポートします。



【写真:学童保育所の様子】

## 健康で明るい暮らしづくり

### 医療の充実

【継続事業】東濃 5 市連携「医師確保奨学基金制度」……………10,080 千円

東濃 5 市が連携して設立した医師確保のための奨学基金制度により、将来東濃の公的医療機関に医師業務に従事しようとする学生を支援します。

【継続事業】医師・看護師の安定した確保「医師・看護師確保事業」……………54,118 千円

医師不足解消のため、奨学金制度を活用するほか、大学病院医局への訪問などにより医師の安定した確保に努めます。また、患者さんに対するきめ細かい看護を行うため、奨学金制度を活用するほか、看護学校への訪問などにより看護師の安定した確保に努め、地域医療を支えます。

## 2 安全で便利な暮らしをつくります

### 安全な暮らしの確保

#### 防災対策の推進

【継続事業】防災ひとづくり「地域防災力強化事業」…………… 3,489 千円

自主防災組織の強化を図るため、防災訓練の実施、自主防災リーダーの養成、防災資機材の整備及び防災士の養成支援などを行います。



【写真: 自主防災会による防災訓練の様子】

【継続事業】もしものときの防災用品の確保「防災備蓄確保事業」…………… 3,428 千円

災害時に最低限必要な防災用品を計画的に備蓄します。また、市内流通業者と食糧品等の流通備蓄の拡大を図るため協定を結びます。

【拡大事業】多重化による情報伝達「防災情報伝達機能強化事業」……………10,275 千円

ゲリラ豪雨等に対応した観測機能を強化し、市民安全情報ネットワークによる危険情報の自動通知により、迅速的確な避難対応に繋がります。

#### 身の回りの危険の除去

【拡大事業】耐震化促進「木造住宅耐震診断・補強工事等補助事業」……………68,522 千円

県内の市では初めての「住宅耐震化促進条例」を制定し、耐震診断、耐震改修の普及を図るため、無料耐震診断や耐震補強工事の補助を実施し、市民の命を地震災害から守るための取り組みを支援します。



【写真: 耐震補強工事の様子】

【継続事業】 みんなでみんなの「安全安心まちづくり推進事業」 …………… 9,392 千円

安全安心まちづくり基本計画に基づき、関係機関が連携してそれぞれの役割を果たし、市民が安全で安心して暮らせるための対応を図ります。



【写真:青色防犯パトロール(苗木地区)】

【継続事業】 連携とスピード「身の回りの危険の除去事業」 …………… 350 千円

市民から危険箇所の報告を受け、現地の点検を実施し、関係部署と連携をとり必要な整備や改善を図ります。

【拡大事業】 身近で安心「AED設置事業」 …………… 6,101 千円

市内の小学校、幼稚園、保育園及び公共施設にAED(自動体外式除細動器)を計画的に設置し、緊急時に備えます。

- ・設置計画を前倒して実施することにより、平成21年度中に市内全小学校への設置が完了します。

(※中学校は平成 20 年度設置完了)

- ・小学校15校、公共施設3ヶ所に設置します。



【写真:山口公民館に設置されたAED】

## 交通安全の推進

【継続事業】 みんなで学ぶ「交通安全推進事業」 …………… 11,656 千円

幼児から高齢者まで年齢に応じた交通安全教育の充実に努め、市民の交通安全意識の高揚を図ります。



【写真:交通安全教室】

【継続事業】 道路凍結防止「日陰に光事業」 …………… 3,000 千円

道路の凍結防止のため、日陰になりやすい場所の伐開や針葉樹を落葉樹に替えるなど、冬期に道路への日光を多く入れることで路面凍結及び積雪期間を短縮し、スリップ事故を防止し交通の安全を確保します。そのため、必要な箇所を調査し、地元の皆様のご協力による伐採等を進めます。



【写真:市民の協力による伐採の様子】

## 消防・救急体制の充実

【継続事業】地域消防力強化「消防ポンプ自動車等更新配備」……………34,240 千円

複雑多様化している災害に対し、消防力の均等と充実を図るため、老朽化している消防車両等を計画的に更新します。



【写真：消防団に配備される消防ポンプ自動車】

## 防犯の推進

【継続事業】明るいまちづくり「防犯灯設置事業」…………… 1,300 千円

まちを明るくし、防犯対策(犯罪抑止)を図るため、地域で設置する防犯灯について交付金として助成します。

【継続事業】みんなでみんなの「安全安心まちづくり推進事業」(再掲)…………… 9,392 千円

安全安心まちづくり基本計画に基づき、関係機関が連携してそれぞれの役割を果たし、市民が安全で安心して暮らせるための対応を図ります。

## 便利な暮らしづくり

### 道路・交通ネットワークの整備

【継続事業】神坂・馬籠スマート I C 設置推進事業…………… 3,000 千円

スマートインターチェンジの設置に向け、調査を実施するとともに、地域住民や関係団体などが一体となり検討を行います。

【継続事業】生活環境の改善「中津 485 号線道路改良事業」…………… 180,000 千円

中津川市の北野地区を通る市道中津485号線改良に国の有利な補助制度である「まちづくり交付金」を活用して、地域の要望に添った道路改良を行うことにより、生活環境の改善、交通の円滑化を図ります。

道路工 L=50m、用地購入、補償費

【継続事業】市民病院アクセス改善「松源寺～大平線道路改良事業」……………21,000 千円

市民病院への救急車の搬送路として、また、生活・産業道路として重要な路線である松源寺～大平線のうち、JR跨線橋である松源寺橋架替及び交差点改良を行うことにより市民病院へのアクセス道路及び生活、産業道路としての利便性を図ります。

調査測量設計、詳細設計

【継続事業】生活道路の安全確保「鳩吹～町切線道路新設工事」……………52,000 千円

蛭川総合事務所前から蛭子座までの間について、国の有利な補助制度である「まちづくり交付金」を活用して、公共施設への円滑な通行の確保、西消防署蛭川分署の緊急活動円滑化、地域の活性化と交通軸の強化を図ります。

道路工 L=171m

【継続事業】生活道路の安全確保「中野～芝ヶ瀬線道路改良事業」……………45,000 千円

付知地区と田瀬地区を結ぶ生活道路として、また国道256号線の迂回路としても重要な路線である中野～芝ヶ瀬線の改良を行い、円滑な車両通行の確保と、歩行者の安全確保を行います。

道路工 L=65m

【新規事業】道路交通の円滑化「道路情報板設置工事」…………… 4,000 千円

平成21年秋に予定されている城山大橋無料化に伴い、交通量が増加すると思われる交差点に県と共に案内板を設置し、交通の円滑化を図ります。市では小鳩口交差点に案内板を設置します。

【拡大事業】景気対策・生活道路の安全確保「道路維持緊急対応事業」……………89,720 千円

市民生活に密着した生活道路の維持補修などの市民要望に速やかに対応するための予算を拡大します。

緊急対策費として、10,000 千円計上します。

【継続事業】県営農免農道（ふるさと椿街道）整備事業負担金……………59,125 千円

山口地区と馬籠地区を結ぶ農産物輸送の幹線農道であり、また、国道19号の代替ルート、飛騨・木曾とを結ぶ広域観光ルートとして平成5年度から事業を進めており、早期の全線開通に向け事業の進捗を図ります。有利な財源である過疎対策事業債を活用します。

道路工 L=513m、橋りょう工、舗装工、附帯工、測量、用地補償



【写真：ふるさと椿街道整備工事の様子】

【拡大事業】交通弱者対策「コミュニティバス・自主運行バス運行事業」……………52,735 千円

地域内及び地域間の移動手段を確保するため、コミュニティバスを運行するとともに、事業者が採算の悪化により退出したバス路線を事業者に代わり市が自主運行バスとして運行します。

【新規事業】互助交通のモデル事業「地域ボランティア運送支援事業」…………… 1,250 千円

地域内無償運送を行う地域ボランティアによる運営組織の設立を促進するため、支援します。

情報通信ネットワークの整備

【継続事業】全市光ファイバー「情報通信ネットワーク整備事業」…………… 380,815 千円

情報通信格差の解消、産業振興及び市民生活の利便性向上を図るため、光ファイバーによる良好な情報通信基盤を構築します。

## 住環境の整備

【継続事業】地域活性化「UI ターン者用住宅整備事業」…………… 110,659 千円

高齢化、過疎化の著しい中山間地域の活性化を促進するため、若年層の UI ターン者を受け入れるための市営住宅を建設します。

- ・加子母地域 設計・監理、敷地造成、住宅建設  
(木造2階建て長屋住宅6戸)



【写真：神坂地域に建設されたUI ターン者用住宅】

【継続事業】水道未普及地域解消事業（川上地区）…………… 12,050 千円

飲料水の衛生確保並びに生活環境の向上のため、水道未普及地域において、地元の協力を得ながら水道施設整備を行い、平成 24 年度～平成 25 年度の給水開始を目指して整備を進めます。

【新規事業】簡易水道遠方監視設備整備事業（山口地域）…………… 163,000 千円

市民に安全・安心な水を供給するため、山口地域の簡易水道施設の電気計装の整備及び坂下総合事務所での監視に必要な装置の整備を進めます。



【写真：坂下総合事務所の遠方監視装置】

【継続事業】まごめ簡易水道増補改良事業…………… 200,042 千円

市民に安全・安心な水を供給するため、まごめ簡易水道施設の改良整備を進めます

## 公共施設の充実

【新規事業】付知総合事務所移転に伴う公民館耐震補強整備事業…………… 4,080 千円

公民館の耐震補強・改修整備などを行い、地域の行政サービスの拠点となる総合事務所庁舎を移転・統合するとともに、市民が利用しやすく、安全な施設を確保します。

- ・耐震補強計画実施設計を行います。

### 3 産業を活発にし、働く場を充実します

#### 製造業の振興と新たな産業の創出

##### 既存製造業の振興

【継続事業】企業立地強化事業（企業立地・事業所設置・雇用促進奨励金）……………87,775 千円

市内に事業所を新設、増設、移設する事業者に奨励措置を行い、企業誘致・雇用対策を推進します。

##### 新たな産業の創出

【継続事業】「産・学・官」交流の場づくり事業…………… 2,121 千円

大学や研究機関との連携による民間企業の新技術・新製品の開発や新たなビジネスの創造を支援します。

##### 就労環境の充実

【継続事業】人材と企業の橋渡し「雇用対策事業」……………17,937 千円

モノづくり人材紹介事業、無料職業相談所、就職面接会、会社説明会による就業者と企業の橋渡し、学生の企業見学、インターシップの推進等による地元企業のPR等を実施します。

#### 地場産業の振興

##### 木材関連業の振興

【継続事業】東濃ひのきの家ブランド「産直住宅建設支援事業」……………15,230 千円

「東濃ひのきの産直住宅」のブランド力・信頼性・営業力等を強化して受注の確保を図るため、産直住宅組合の活動に対して支援を行います。

【継続事業】山の文化と林業振興「名古屋城本丸御殿復元支援事業」…………… 2,600 千円

名古屋城本丸御殿復元事業の支援を通し、木材等の供給、技術の伝承、市内産業の振興を図ります。



【写真：名古屋城本丸御殿復元イベント】

【継続事業】ブランド力強化「立木乾燥実証実験支援事業」…………… 1,256 千円

伐採することなく立木のまま乾燥させる「立木乾燥」の実証実験を支援し、CO<sub>2</sub>削減や、木質の優位性などの効果をPRすることにより、ブランド力強化を図ります。

【継続事業】合板工場整備事業…………… 3,333,744 千円

加子母地区に合板工場を誘致することで、間伐材利用拡大による林業支援を行い、地域の活性化、雇用の場の確保を図ります。

### 石材業の振興

【継続事業】地域産業の魅力発信「石彫のつどい助成事業」…………… 1,890 千円

「石彫のつどい」のイベント実施により、「石のことなら蛭川」ということを広く全国にPRし、石材業の発展につなげます。



【写真:石彫のつどい制作作品】

## 農業・林業・畜産業の振興

### 農業の振興

【継続事業】食の安心安全「地産地消推進事業」…………… 3,932 千円

飛騨美濃ふれっしゅ直行便や販路拡大支援、六斎市、おはよう朝市実施等により、中津川市の農産物PRと地産地消の推進を図ります。



【写真:イベントでの地場産品の物産販売】

【新規事業】地産地消の推進「ファーマーズマーケット整備事業」(再掲)…………… 1,507 千円

地産地消を推進するため、国道 257 号沿いに市内農業者による自主参加型農産物直販所を設置して、安全安心な農産物の販路拡大に努めます。

【継続事業】地産地消の推進「間ノ根観光栗園整備事業」(再掲)……………23,370 千円

地産地消を推進するため、中津川市の特産品である栗をテーマに「観光栗園」を整備し、産業の振興に努めます。

### 林業の振興

【新規事業】森林の整備「美しい森林づくり基盤整備交付金事業」……………13,854 千円

36年生以上の間伐及び造林作業路整備に対する補助を行うことにより森林の整備を促進し、森林の多面的機能の維持・増進を図ります。

## 畜産業の振興

【新規事業】 畜産業の推進「畜産担い手育成総合整備事業」 ……30,751 千円

牛の繁殖から肥育までの一貫生産体系を推進し、利益率の向上を図るため、市営石休牧場の草地更新・施設改修整備を行います。

## 商業と観光の振興

### 商業の振興

【拡大事業】 緊急経済対策「中小企業小口融資制度事業」（再掲） …… 105,410 千円

融資のための原資を 53,500 千円から 98,000 千円に 44,500 千円増額し、融資枠を総額 490,000 千円に拡大するとともに、信用保証料の全額及び融資利子のうち1年分を全額補給します。

【継続事業】 中心市街地活性化事業 …… 600 千円

中心市街地活性化協議会が基本計画に沿った事業計画を組み立てる活動などを支援します。

## 豊かな自然と独自の歴史・文化が光るふるさと中津川

### 4 豊かな自然ときれいな中津川をつくります

#### 循環型社会の構築

##### 省資源の推進

【継続事業】 循環型まちづくり「生ごみ堆肥化システムモデル事業」 …… 1,327 千円

家庭生ごみの堆肥化の実用化に向けて、新たな手法(ダンボールコンポスト)でモデル事業を実施し、より有効な方法・効果等を再検証します。

【継続事業】 循環型まちづくり「資源回収事業」 ……22,380 千円

資源となる紙類、ビン類、缶類などを回収した団体に対して奨励金を交付し、資源のリサイクルを促進します。

【継続事業】 循環型まちづくり「リサイクルボックス設置管理事業」 …… 6,270 千円

資源となるごみの回収、資源化を進める地域からの要望に答え、地元管理のリサイクルボックスの設置箇所を増やします。



【写真：地域に設置されたリサイクルボックス】

## 自然エネルギーの活用

【継続事業】エコなまちづくり「住宅用太陽光発電システム設置整備補助事業」…… 7,000 千円

環境にやさしいライフスタイルへの変革を進めるため、個人の住宅用太陽光発電システム導入に対して補助します。



【写真:住宅の屋根に取り付けられたソーラーパネル】

【新規事業】エコなまちづくり「小水力発電設置事業」…………… 5,000 千円

水車等を活用した小水力発電を行い、市内の常夜灯・防犯灯等への利用を図り、自然エネルギーの活用の啓発を行います。

## 豊かな自然の保全と活用

### 自然環境の保全

【拡大事業】坂本地区公共下水道事業…………… 1,381,640 千円

公共水域の水質改善並びに生活環境の向上を図るため、公共下水道が未整備の坂本地区について計画的に整備をすすめ、平成 22 年度末の一部供用開始を目指します。

【継続事業】循環型社会の形成推進「新衛生センター建設事業」…………… 41,704 千円

環境への負荷がない「循環型社会」の形成を推進するため、水質の負荷の軽減及び資源の有効利用ができる施設の建設を行います。

【継続事業】汚水処理施設共同整備（ミックス）事業…………… 27,600 千円

環境への負荷がない「循環型社会」の形成を推進するため、水質の負荷の軽減及び資源の有効利用ができる施設の建設を進め、下水道汚泥と、し尿汚泥を一元化处理し処分費及び維持管理費の軽減を目指します。

【継続事業】環境にやさしいライフスタイルへの変革「全市環境 ISO 運動」…………… 221 千円

環境にやさしいライフスタイルの実現を目指し、環境基本計画に従って、市民・事業者・市の各主体が協力・連携を図りながら、環境負荷の少ない取り組みを推進します。

省資源、省エネルギーを目指したライフスタイルへの変革を「全市ISO運動」として展開します。

## きれいな中津川づくり

### 景観の保全と環境美化

【継続事業】馬籠、落合、本町「景観形成推進事業」……………15,094 千円

中山道の宿場町であった馬籠、落合、本町の重点区域において、「住民が取り組む建築物、工作物等の修景、緑化活動等」に対して助成を行います。財源として、「美しいまちづくり景観整備基金」を活用します。また、本町地区では国の補助金を活用して「街なみ環境整備方針」を策定し、今後の景観保全の方向性を明らかにします。



【写真：中津川宿本町の街なみ】

## 5 キラリと光る歴史・文化の中津川をつくります

### 歴史・文化を大切にしまちづくり

#### 文化の振興

【継続事業】伝統芸能団体への支援「<sup>ひと</sup>芸能文化人づくり事業」…………… 2,743 千円

地歌舞伎、文楽などの地域における伝統文化の継承と後継者育成のために、地域伝統芸能文化団体に対して支援を行います。また恵那文楽のパリ公演に対しても支援を行います。



【写真：芝居小屋(蛭子座)】

【継続事業】郷土の偉人顕彰「島崎藤村記念文芸祭と第2文庫改修支援」…………… 1,300 千円

文豪島崎藤村の業績などを紹介する藤村記念館の活動を支援し、文芸創作活動の振興を図るとともに、郷土の文化人が息づく、芸術・文化の輝くまちづくりを進めます。

- ・島崎藤村記念文芸祭の開催
- ・藤村記念館第2文庫改修支援

#### 歴史文化遺産等の保護・保存

【継続事業】岐阜・長野両県連携「世界遺産登録推進事業」…………… 645 千円

岐阜県、長野県、南木曾町と連携して世界遺産の登録に向け、エリア内の資産価値を高めるため、中山道と馬籠地区などの歴史遺産の調査を行い、国の文化財指定申請に取り組みます。

## 多様な文化とのふれあいの促進

### 交流の促進

【新規事業】馬籠文化交流施設活用事業 …………… 10,265 千円

ふるさと学校、総合グラウンド、ふれあい広場等を公の施設として提供することにより、豊かな自然の中で、文化、スポーツ等の活動を通して市民と多くの人々との交流とふれあいを促進します。

【継続事業】健康づくり&観光「ウォーキングの道づくり事業」 …………… 1,768 千円

中山道・東山道などの歴史街道を中心としたウォーキングの道づくりを行い、健康増進、観光振興の起爆剤として交流人口の拡大を図ります。



【写真:ウォーキングを楽しむ人々】

## まちづくりを支える‘ちから’

### 6 たくましく生きる人づくり

#### 子どもたちの生きる力を育てる教育の推進

##### 教育環境の整備

【継続事業】障がい児の学び育つを応援「特別支援指導助手配置」 …………… 12,852 千円

通常の学級にいる ADHD(注意欠陥・多動性障害)など、支援が必要な子どもへの対応を積極的に推進するために、特別支援指導助手を配置します。

【継続事業】耐震化促進「学校大規模改修補強事業」 …………… 11,320 千円

子どもたちの安全を確保し、安心して快適な教育環境をつくるため、計画的に耐震・改修整備を行います。  
・次年度以降の整備に備え、落合中学校と山口小学校の調査設計を行います。

【拡大事業】奨学金貸付事業（再掲） …………… 141,189 千円

景気対策として、従来の貸与枠とは別に緊急貸与枠を設け、貸与申込みを随時受け付けます。

##### 健全育成の推進

【継続事業】不登校児童生徒の援助「僕も私も質問できる事業」 …………… 5,141 千円

登校できるが教室に入れない児童生徒に学習を保障し、教室復帰に向けた支援を行うため、個別学習支援指導助手を配置します。

## スポーツの推進

### スポーツ活動の推進

【新規事業】 スポーツ施設の充実「坂下総合体育館耐震改修事業」 …… 211,919 千円

地域のスポーツ拠点施設として、耐震補強工事、リニューアル工事を行います。



【写真：現在の坂下総合体育館】

## 生涯学習の推進

### 生涯学習活動の推進

【継続事業】 学習メニューの充実「私が講師！事業」 …… 375 千円

市民の多様な学習要求に応え、また市民が地域のなかで活躍する機会、出番づくりのために、優れた人材に講師として登録していただき、講師として活躍できるよう、各種講座を開講します。

【継続事業】 子育てのひとづくり「子育てサポーター養成講座」 …… 204 千円

子育てに関心のある人等が、知識、技術等を身につけ、若い親に対する子育て支援を通して、地域で活躍する機会を作るための「子育てサポーター養成講座」を開講します。

## 7 互いに助け合うコミュニティづくり

### コミュニティの形成

#### コミュニティ意識の高揚

【継続事業】 ありのままにわかりやすく「広報活動の充実事業」 …… 16,092 千円

広報紙、ホームページ、電子メール、ファクシミリなどの様々なメディアによる広報活動を充実するとともに、高齢者や障がいを持った方にも配慮した情報の提供に努めます。

【継続事業】 もっと情報発信「ホームページの充実事業」 …… 460 千円

ホームページに動画を取り入れるなど、市の公式ホームページを、誰もが簡単に分かりやすく、また使いやすいページづくりに努めます。

#### コミュニティ活動の推進

【継続事業】 みんなでまちづくり「がんばる地域サポート事業」 …… 5,678 千円

地域の人と人との絆を深め力強い地域づくりを行うために、地域主体の様々な取り組みに対して、立ち上がり段階から支援を行います。

【継続事業】 みんなでまちづくり「地域振興活動事業」 …………… 3,439 千円

合併後の地域の声を施策に反映させるため地域審議会を設置するとともに、協働のまちづくりを推進します。

【継続事業】 みんなでまちづくり「市政懇談会の実施」 …………… 人件費対応

すべての小学校区にて市政懇談会を継続的に開催し、地域の声を市政に反映します。

【新規事業】 みんなでまちづくり「地域づくり型生涯学習実践事業」 …………… 7,379 千円

総合事務所の企画振興課長が兼務している公民館長職を地域の人に嘱託として担っていただき、地域に密着した活動を起こし、コミュニティ活動の推進を図ります。

平成 21 年度は坂下、蛭川、福岡、山口の 4 公民館を対象とします。

【継続事業】 みんなでまちづくり「市民の協力による生活道路整備事業」 …………… 9,000 千円

道路の幅員が狭く効率的な消防活動、急患の速やかな搬送に支障をきたしている生活道路について、路線の改良整備を計画段階から住民参加型の事業として地域の皆さんの協力を得て進めるとともに、材料等を支給し地元施工による整備を推進します。



【施工中】



【施工後】

### 活動拠点の充実

【継続事業】 コミュニティ拠点整備「苗木コミュニティセンター整備事業」 …………… 4,566 千円

コミュニティセンター施設の調査設計を行います。

【継続事業】 地域集会施設整備への支援「広報会集会施設整備事業」 …………… 7,280 千円

集会所やクラブ等の地域集会施設の整備に対して計画的に補助を行い、地域コミュニティの形成を図るとともに、災害時の対応機能や地域の福祉・教育活動などの機能整備を促進します。

## 8 市民が主役の市役所づくり

### 行政改革の推進

#### 行政改革推進体制の整備

【継続事業】 市民による行政改革委員会 …………… 91 千円

市民による行政改革委員会の助言を受け、市民の視点で行財政改革を進めます。

【新規事業】 工程表（ロードマップ）による行政改革の推進 …… 人件費対応

何を、いつまでに、どのように改革するのかを示した工程表(ロードマップ)を作成し、公共施設の管理運営の見直し、補助金・負担金等の見直し、民間活用の推進などを行い、行財政改革を着実に進めます。

【継続事業】 市役所改革の推進 …… 人件費対応

誰が、何を、いつやるのかを明確にする「仕事の見える化」を推進し、業務を改善(チェンジ)して、政策に取り組む(チャレンジ)環境を整え、市民の声に応える市役所に変革します。

【継続事業】 監査機能の強化事業 …… 人件費対応

監査と進捗管理部門が連携し監査機能の強化に努め、執行管理の監査だけでなく施策目標に対する進捗状況を監査します。

【継続事業】 施策・事業進捗管理事業 …… 人件費対応

市長公約、主要な施策・事業、市民要望などに係る実行確約事項の進捗管理を行います。

【継続事業】 職員定員管理計画の策定・実施 …… 人件費対応

職員定員管理計画に従って、新市建設計画の医療機関を除いた職員数 850 人体制を平成 22 年度末までに実施します。

### スクラップ・アンド・ビルド

【継続事業】 行政評価事業 …… 418 千円

健全財政に向けた緊急課題の改善策を全庁的に取り組み、税の投入と成果のバランスを評価し、経営改革を積極的に行います。

### スリム化

【継続事業】 「職員提案」 …… 人件費対応

柔軟な発想による「職員提案」とそれぞれの職場に関することは自ら改善する「一係一改善活動」を行い、事務改善を進めます。

【継続事業】 「人事評価制度の定着及び確立」 …… 1,554 千円

職員の意識改革と能力開発及び人材育成を図るため、人事評価者研修を行い、職員力とチーム力をアップし、市民が主役の行政を進めます。

### 市民参加の促進

【継続事業】 みんなでまちづくり「女性懇談会の開催」 …… 人件費対応

女性懇談会を継続的に開催し、女性の声を市政に反映させます。

【継続事業】 みんなでまちづくり「高齢者懇談会の開催」 …… 人件費対応

高齢者の団体と協力して高齢者懇談会を開催し、高齢者の声を市政に反映させます。

【継続事業】 みんなでまちづくり「若者懇談会の開催」 …………… 人件費対応

JCなど若者の団体と協力して若者懇談会を開催し、若者の声を市政に反映させます。

## 9 社会基盤の整備

### 広域の拠点づくり

【継続事業】 「広域の拠点づくり」 …………… 人件費対応

リニア中央新幹線開業に向けて動き始めている中、二リア中央新幹線停車駅の県内1駅誘致への第1ステップとして、中央自動車道、濃飛横断道などの交通の接点を活かした、広域の拠点づくりを進めます。

## 9 社会基盤の整備(一部再掲あり)

### ■ 福祉

- 福祉施設の拡充「認知症高齢者グループホーム整備助成」…………… 33,000 千円

### ■ 安全・便利

- 道路凍結防止「日陰に光事業」…………… 3,000 千円
- 地域活性化「Uターン者用住宅整備事業」…………… 110,659 千円
- 安全対策「歩道・交通安全施設設置事業」…………… 25,000 千円
- 防災情報伝達機能強化事業…………… 10,275 千円
- 防災備蓄確保事業…………… 3,428 千円
- 市民安全情報ネットワーク推進事業…………… 2,260 千円
- 交通安全施設整備事業…………… 3,515 千円
- 消防ポンプ自動車等更新配備…………… 34,240 千円
- 防犯灯設置事業…………… 1,300 千円
- 耐震化促進「木造住宅耐震診断・補強工事等補助事業」…………… 68,522 千円
- 耐震化促進「保育園耐震補強・改修事業」…………… 43,205 千円
- 耐震化促進「学校大規模改修補強事業」…………… 11,320 千円
- 水道未普及地域解消事業(川上地区)<sup>かおれ</sup>…………… 12,050 千円

### ■ 道路

- 神坂・馬籠スマート IC 設置推進事業…………… 3,000 千円
- 生活環境の改善「中津 485 号線道路改良事業」…………… 180,000 千円
- 市民病院アクセス改善「松源寺～大平線道路改良事業」…………… 21,000 千円
- 道路情報板設置工事…………… 4,000 千円
- 生活道路の安全確保「松源寺～大西線道路改良事業」…………… 55,000 千円
- 生活道路の安全確保「宮脇～矢平線道路改良事業」…………… 43,000 千円
- 生活道路の安全確保「中野～芝ヶ瀬線道路改良事業」…………… 45,000 千円
- 生活道路の安全確保「鳩吹～町切線道路改良事業」…………… 52,000 千円
- 生活道路の安全確保「五ツ峯～中畑線道路改良事業」…………… 24,000 千円
- 生活道路の安全確保「山口 20 号線道路改良事業」…………… 15,210 千円
- 県営農免農道(ふるさと椿街道)整備事業負担金…………… 59,125 千円
- みんなでまちづくり「市民の協力による生活道路整備事業」…………… 9,000 千円
- 広域幹線道路の整備「県施工事業負担金」…………… 24,800 千円
- 生活道路の安全確保「道路維持補修事業」…………… 180,610 千円
- 生活道路の安全確保「橋りょう耐震補強補修事業」…………… 19,000 千円
- 県営農道保全対策事業(橋りょう耐震補強等)…………… 17,250 千円

### ■ 情報

- 全市光ファイバー「情報通信ネットワーク整備事業」…………… 380,815 千円

■ 産業

- 企業立地強化事業（企業立地・事業所設置・雇用促進奨励金） …… 87,775 千円
- 合板工場立地事業 …… 3,333,744 千円
- 県営中山間地域総合整備事業負担金（蛭川地区） …… 17,875 千円
- 県営中山間地域総合整備事業負担金（恵北地区：付知・福岡地区） …… 32,500 千円
- 県営ため池整備事業 …… 3,675 千円
- 土地改良事業（山口青木平地区団体営） …… 40,160 千円
- 土地改良事業（県補助事業等） …… 33,050 千円
- 土地改良事業（市単独事業） …… 40,576 千円
- 農地・水・環境保全向上対策事業 …… 13,134 千円
- 公共木曽越林道開設事業 …… 58,000 千円
- 加子母 173 号線道路改良事業 …… 154,757 千円
- 林道整備事業（県補助事業） …… 40,400 千円
- 林道整備事業（市単独事業） …… 9,574 千円

■ 自然

- エコなまちづくり「住宅用太陽光発電システム設置整備補助事業」 …… 7,000 千円
- エコなまちづくり「小水力発電設置事業」 …… 5,000 千円
- 馬籠、落合、本町「景観形成推進事業」 …… 15,094 千円
- 河川環境の保全「河川改修事業」 …… 98,915 千円
- 中津地区公共下水道事業 …… 536,298 千円
- 苗木地区特定環境保全公共下水道事業 …… 303,536 千円
- 坂本地区公共下水道事業 …… 1,381,640 千円

■ 歴史・文化

- 歴史遺産の保存「苗木城整備保存事業」 …… 14,705 千円
- 伝統芸能団体への支援「芸能文化人づくり事業」 …… 2,743 千円

■ 人づくり（教育・生涯学習・スポーツ）

- 耐震化促進「学校大規模改修補強整備事業」 …… 11,320 千円
- スポーツ施設の充実「坂下総合体育館耐震改修事業」 …… 211,919 千円

■ コミュニティ

- コミュニティ拠点整備「苗木コミュニティセンター整備事業」 …… 4,566 千円
- 地域集会施設整備への支援「広報会集会施設整備事業」 …… 7,280 千円

10 今日の課題事業群(一部再掲あり)

① 人口減少を食い止める施策 3 点セット

(1) 産業振興対策事業

- 工業振興事業（企業立地・事業所設置・雇用促進奨励金）…………… 87,775 千円
- 合板工場立地事業 ……………… 3,333,744 千円
- 雇用対策事業 ……………… 17,937 千円
- 「産・学・官」交流の場づくり事業 ……………… 2,121 千円
- 産直住宅建設支援事業 ……………… 15,230 千円
- 名古屋城本丸御殿復元支援事業 ……………… 2,600 千円
- ファーマーズマーケット整備事業 ……………… 1,507 千円
- 神坂・馬籠スマート IC 設置促進事業 ……………… 3,000 千円
- 景観形成推進事業（馬籠・落合・本町） ……………… 15,094 千円
- 情報通信ネットワーク整備事業（光ファイバー） ……………… 380,815 千円
- 畜産担い手育成総合整備事業 ……………… 30,751 千円
- 中小企業小口融資制度事業 ……………… 105,410 千円
- （財）中津川・恵那地域勤労者福祉サービスセンター事業(ジョイセブン) ……………… 21,479 千円
- 加子母 173 号線道路改良事業（合板工場関連） ……………… 154,757 千円
- 勤労者生活・住宅資金貸付事業 ……………… 24,500 千円
- 産業振興交付金事業 ……………… 900 千円
- 農産物ブランド化推進事業 ……………… 19,480 千円
- ミネラル野菜ブランド化確立事業 ……………… 1,398 千円
- 農業団体等育成事業 ……………… 74,797 千円
- 中山間地域等直接支払推進事業 ……………… 319,959 千円
- 農地・水・環境保全向上対策事業 ……………… 13,134 千円
- 県産材需要拡大施設等整備事業 ……………… 3,885 千円
- 産直住宅組合補助事業 ……………… 1,975 千円
- 畜産環境整備事業 ……………… 1,758 千円
- 優良雌牛保留導入対策事業 ……………… 4,212 千円
- 間ノ根観光栗園整備事業 ……………… 23,370 千円

(2) 住宅政策事業

- 加子母地区 U I ターン者用住宅整備事業 ……………… 110,659 千円
- 公営住宅等整備事業 ……………… 20,986 千円
- 木造住宅等無料耐震診断事業 ……………… 13,500 千円
- 木造住宅等耐震診断事業 ……………… 450 千円
- 木造住宅等耐震補強事業 ……………… 50,400 千円
- 木造住宅等耐震化促進事業 ……………… 4,172 千円

(3) 少子化対策事業

- 妊婦さん応援事業 ……………… 49,419 千円
- 児童手当支給事業 ……………… 664,661 千円
- 乳幼児等医療費扶助事業 ……………… 255,217 千円
- こんにちは赤ちゃん事業 ……………… 244 千円
- 児童館等運営事業 ……………… 26,945 千円
- 学童保育所の運営支援 ……………… 50,851 千円
- 次世代育成支援対策の推進 ……………… 人件費対応
- 子育てサポーター養成講座 ……………… 204 千円
- 延長保育促進事業 ……………… 23,678 千円
- 放課後子ども教室事業 ……………… 1,154 千円
- 医師確保奨学基金制度 ……………… 10,080 千円
- ファミリーサポート事業 ……………… 6,818 千円
- 世代間交流フロア運営事業 ……………… 事業費はにぎわいプラザ運営事業に含まれる

## ② コミュニティ維持のための4つの施策

### (1) 教育

- 親の意見を教育現場に反映させる移動教育委員会…………… 人件費対応
- 機能する学校作り事業（のびのび学習指導）…………… 77,112 千円
- 夢と創造力を育む総合的学習の推進事業…………… 6,010 千円
- 児童館等運営事業…………… 26,945 千円
- 学童保育所の運営支援…………… 50,851 千円
- 放課後子ども教室事業…………… 1,154 千円
- スポーツ少年団活動支援事業…………… 2,742 千円

### (2) 医療

- 地域医療対策事業…………… 501 千円
- 医師確保奨学基金…………… 10,080 千円
- 医師・看護師確保事業（病院事業）…………… 54,118 千円

### (3) 交通

- コミュニティバス・自主運行バス運行事業…………… 52,735 千円
- 自主運行バス運行事業…………… 13,000 千円

### (4) 情報

- 情報通信ネットワーク整備事業(光ファイバー)…………… 380,815 千円

## ③ 環境にやさしいライフスタイルへの変革

- 全市環境 ISO 運動…………… 221 千円
- 住宅用太陽光発電システム設置整備補助事業…………… 7,000 千円
- 小水力発電設置事業…………… 5,000 千円
- 生ごみ堆肥化システムモデル事業…………… 1,327 千円
- 資源回収事業…………… 22,380 千円
- 生ごみ処理機等設置事業…………… 900 千円
- リサイクルボックス設置管理事業…………… 6,270 千円
- 資源ごみ等分別収集モデル事業…………… 人件費対応
- 環境美化推進事業…………… 241 千円
- 廃棄物不適正処理監視事業…………… 2,164 千円
- 廃食用油燃料化事業…………… 2,635 千円
- 公害対策事業…………… 3,669 千円
- 環境学習推進事業（自然環境体験型学習）…………… 59 千円
- 地球温暖化防止計画推進事業…………… 162 千円

## ④ 中心市街地活性化対策

- 中心市街地活性化事業…………… 600 千円
- 駅前市営駐車場改修実施設計事業…………… 8,500 千円

## ⑤ 広域の拠点づくり

- 広域の拠点づくり事業…………… 人件費対応

## 11 各地域において実施する主な事業(一部再掲あり)

### ■ 中津地域

- 保育園耐震補強・改修(小鳩保育園)
- 認知症高齢者グループホーム建設補助金
- 小型動力ポンプ更新
- 水道未普及解消調査・基本計画等委託  
(川上地区)<sup>かおれ</sup>
- まちなみ景観形成補助(本町地区)
- ファーマーズマーケット整備
- 街なみ環境整備方針策定
- 道路情報板設置工事
- 中津 485 号線道路改良
- 松源寺～大平線道路改良
- 桃山交差点改良に伴う関連道路改修
- 中津 420 号線調査測量委託
- 中津 190 号線調査測量委託
- 中津 46 号線維持側溝敷設
- 中津 185 号線維持側溝敷設
- 手賀野排水改良
- 教員住宅解体工事
- 公共下水道中津川処理区
- 広報会集会施設整備補助
- リサイクルボックス設置

### ■ 坂本地域

- 公共下水道坂本処理区
- 教員住宅解体工事
- 坂本小学校環境整備
- 坂本中学校環境整備
- 坂本 114 号線道路改良
- 坂本 126 号線道路改良
- 五ッ峯～中畑線道路改良
- 坂本川管理道路(県アケ-ション事業)
- 小型動力ポンプ積載車更新
- 坂本 175 号線道路改良
- 坂本 80 号線調査測量設計委託
- 前田～津戸井線調査測量委託
- 曙地区基幹排水路整備
- 柿ノ木川河川改修測量設計委託
- 坂本排水路改良工事
- 茄子川農道用地測量委託
- 光ファイバー世帯引込工事

### ■ 苗木地域

- 新衛生センター調査測量設計等
- 汚水処理施設共同整備(ミックス)
- 特定環境保全公共下水道苗木処理区
- 認知症高齢者グループホーム建設補助金
- 苗木コミュニティカ-整備実施設計
- 苗木城跡整備保存
- 広域農道歩道設置
- 上地排水路改修
- 三郷排水路改修
- 光ファイバー世帯引込工事

### ■ 阿木地域

- 阿木高校環境整備
- 阿木コミュニティセンター駐車場造成
- 阿木第三用水改良
- 阿木 36 号線道路改良
- 阿木 234 号線調査設計委託
- 阿木 32 号線調査設計委託
- 不動・丸山林道改良
- 光ファイバー世帯引込工事

### ■ 神坂地域

- 神坂 2 号線道路改良
- 神坂・馬籠スマート IC 設置調査委託
- 風穴整備(屋根設置)

### ■ 落合地域

- まちなみ景観形成補助(落合地区)
- 落合中学校大規模改修補強実施設計委託
- 保育園耐震補強・大規模改修調査設計  
(落合保育園)
- 横挽～平岩線道路改良
- 向山～新茶屋線横断暗渠修繕
- 井の上排水改良

### ■ 山口地域

- ふるさと椿街道農道整備
- まちなみ景観形成補助（馬籠地区）
- 簡易水道遠方監視設備整備
- まごめ簡易水道増補改良
- 藤村記念館第 2 文庫改修支援
- 山口小学校屋内運動場大規模改修補強実施設計委託
- 消防ポンプ自動車更新
- 山口 20 号線道路改良
- 青木平地区ほ場整備
- 光ファイバー網整備工事
- 光ファイバー世帯引込工事

### ■ 付知地域

- 付知総合事務所移転に伴う公民館耐震補強整備
- 中野～芝ヶ瀬線道路改良
- 落石防止ネット設置
- 大新田急傾斜地崩壊防止
- 県営中山間地域総合整備事業負担金（恵北地区）
- 宮島地内落石防止
- 倉屋排水改良
- 若宮排水路改修
- 恵北東林道改良
- 熊倉（Ⅱ）林道改良
- 光ファイバー世帯引込工事

### ■ 坂下地域

- 坂下総合体育館耐震改修
- 光ファイバー網整備工事
- 光ファイバー世帯引込工事
- 小型動力ポンプ積載車更新
- 上鐘団地線側溝改修
- 八幡～相沢線路側擁壁補強
- 保ヶ山用水路改修
- 林道下線舗装

### ■ 福岡地域

- 光ファイバー世帯引込工事
- 福岡 18 号線補修
- 宮脇～矢平線道路改良
- 福岡 149 号線舗装補修
- 県営中山間地域総合整備事業負担金（恵北地区）
- 柏原川頭首工水位計設置
- 上之平用水路改修
- 付知川右岸用水補修
- 恵北林道法面改良

### ■ 川上地域

- 地上デジタル放送対応機器改修委託
- 川上CATV運営管理
- 下平～白山線側溝改良
- 恵北東林道改良

### ■ 加子母地域

- 合板工場立地事業
- Uターン者用住宅整備
- 神ノ木～杉ヶ平線道路改良
- 加子母 173 号線道路改良
- 木曾越林道開設
- 一の谷林道総合改良
- アワラ集落環境保全整備
- 小型動力ポンプ更新
- 広報会集会施設整備
- 光ファイバー世帯引込工事
- 小秀山避難小屋（バイオトイレ）設置

### ■ 蛭川地域

- 蛭川 20 号線舗装補修
- 鳩吹～町切線道路新設
- 蛭川 58 号線側溝改良
- 棚田～長坂線排水路改修
- 奥渡第 6 地区ため池整備
- 県営中山間地域総合整備事業負担金（蛭川地区）
- 深山林道舗装
- 石彫のつどい助成
- 光ファイバー世帯引込工事

## 12 地域振興特別予算事業

### ■独自のイベント

- 根ノ上高原観光事業（中津）
- 阿木川湖ロードレース大会（中津）
- 神坂東山道もみじまつり（中津）
- ふるさと馬籠ごへー祭り（山口）
- 与三郎まつり（坂下）
- 桜の湖そばの花まつり（坂下）
- 還暦マラソン（坂下）
- やさかふるさと花火大会（坂下）
- 桜の湖さくらまつり（坂下）
- 木曾川ふるさと鮎つり大会（坂下）
- 福祉健康まつり（坂下）
- 夕森もみじまつり（川上）
- 産業祭（川上・福岡）
- ふるさとまつり（加子母）
- つけち夢まつり（付知）
- つけち森林の市（付知）
- レディースクラフトフェア（付知）
- ふるさと祭り（福岡）
- うきうき広場（福岡）
- ひとつばたご祭り（蛭川）
- MAIKA 祭（蛭川）

### ■新しいまちづくり・産業おこし

- 産直住宅日本一推進事業（全域）
- 産直住宅組合補助事業（中津・坂下・加子母・付知・福岡）
- 観光協会事業（中津・山口・坂下・福岡・蛭川）
- 木曾観光連盟事業（山口）
- 全村公園化事業（川上）
- 植樹祭（川上）
- 立木乾燥実証実験支援事業（加子母）
- 石彫のつどい（蛭川）

### ■独自の文化

- 歌舞伎振興事業（全域）
- 文化協会等活動事業（全域）
- 中津川ふるさと芸能文化保存協会事業（中津）
- 姉妹都市交流事業（山口・付知・蛭川）
- 世界遺産登録推進事業（山口）
- 花馬まつり事業（坂下）
- 花馬保存会事業（坂下）
- 歌舞伎保存会活動事業（坂下・加子母・福岡・蛭川）
- 風起こし事業（加子母）
- 獅子舞事業（加子母）
- 木遣保存会事業（加子母・付知）
- 翁舞保存会事業（付知）
- 三輪獅子舞神楽事業（付知）
- 杵振り花馬保存会事業（蛭川）

### ■コミュニティの形成

- 地域住民運動会（旧町村地域）
- かわうえケーブルテレビ自主番組制作事業（川上）
- 婦人会育成事業（加子母・付知・蛭川）

### ■居場所と出番づくり

- スポーツ少年団活動支援事業（中津・やさか・加子母・付知・蛭川）
- 総合型地域スポーツクラブ支援事業（やさか・蛭川）
- 学童保育所運営事業（中津・坂下・川上・加子母・付知・福岡）
- 放課後子ども教室事業（加子母・福岡）
- 二つ森ふれあいクラブ活動支援事業（福岡）

## 資料編

## 1 合併後の各地域のまちづくり

- 合併した 8 市町村は運命共同体です。「多様性のなかの統一」という理念に従い、それぞれの地域がその歴史を踏まえて、自然や文化を磨き、お互いにその個性を認め合いながら、それぞれの持てる力を合わせて統一的に行動することによって活力を増すことが、合併成功への道となります。
- 新中津川市は、それぞれの地域の持つ豊かな自然と独自の歴史・文化を活かした地域づくりをすすめます。また、高効率経済社会がもたらしたひずみを取り除くためには互いに助け合うコミュニティの形成が不可欠であり、市民が主役となる「居場所と出番づくり」に取り組み、「元気な地域づくり」を目指します。
- それぞれの地域のまちづくりの基本方針を以下に示します。また、具体的な事業については、「各地域において実施する主な事業（41、42 ページ）」で示しています。

## ➤ 中津地域

当地域は、江戸五街道のひとつである中山道の宿場町で文化、商業、産業の中心地として発展し、今もその面影を色濃く残すまちなかにあって賑わいを創出し、多くの人々が暮らしている地域でもあります。

また、J R 中津川駅から国道 19 号に至る市街地は多くの商店や飲食店が立地する商業の中心として市の「顔」であるとともに、中心市街地を囲む手賀野、駒場、中津川の各地域は電気機械器具製造業やパルプ紙加工業等優れた技術が集積した工場や事業所も数多く産業経済の生産基盤の地でもあり、商工業を活性化して人の集う元気なまちづくりをすすめます。

市民が集う中心市街地は、六斎市、夏の「おいでん祭」、春・秋の「中山道まつり」、など市の代表的なイベントの開催地として市内外から多くの人々が訪れ街道文化のまち中津川が満喫できる地域、そして老舗と呼ばれる菓子舗の数々は、栗きんとんに代表される多くの銘菓を生み出し、三大和菓子の里として食の文化を発信する「もてなしの心」をもった地域でもあります。

当地域は歴史的・文化的資源も多く、中津川市の「顔」となる都市整備を進めることによって訪れたいまち、住みよいまちづくりを推進します。

## ➤ 苗木地域

高峰山、夜明けの森など豊かな自然環境に恵まれた当地域は、合併後、新市域の中心に位置し、中心市街地や市民病院、中核工業団地へも比較的近く、今後、城山大橋の無料化により、交通アクセスが良くなることで他地域からの転入者などにより、人口の増加が見込まれ地域の活性化も予測されます。その反面、人と人とのつながり、地域の連帯感の希薄化が懸念され、地域活動・地域間交流の拠点となる、使いやすい『新コミュニティセンター』の整備を進め、住民が一体感をもった地域づくりに取り組みます。

夏には、昭和 26 年以来、毎年開催されている『あんどん祭り』が盛大に行われ、苗木地域の代表的な伝統行事として深く根づいており、子どもから高齢者まで、さらには地域内外の交流、発展の場としてますます重要になってきております。

また、国指定史跡の『苗木城跡』の他、『遠山史料館』、『鉱物博物館』、『青邨記念館』といった様々な文化施設や『苗木球場』、『トレーニングセンター』といった体育施設も充実しており、これらを活用した集客を図るとともに、文化芸能やスポーツ活動などの生涯学習の振興を推進します。

## ▶ 坂本地域

当地域は中津川市と恵那市の市街地の中間に位置し、JR 中央線美乃坂本駅、中央道中津川インターチェンジ、国道 19 号と交通の便がよく、中核工業団地を中心に企業生産活動が活発です。また東美濃ふれあいセンター、中津川運動公園など昼間流入人口増加に伴い、国道 19 号沿線には大規模店舗も進出し生活の利便性が向上し、定住人口も増加しています。

産業は、商工業を中心に発展しており、開発可能地はまだ多く、国道 19 号の 4 車線化推進と生活基盤である公共下水道の整備に取り組む中で地域の生活環境がさらによりよくなり今後も発展することが見込まれます。また無秩序な開発をできるだけ防ぐために工業と産業の振興、農業の振興、住環境の向上など快適で調和のとれたまちづくりを進めるために地域が一体となって「活力と魅力のあるまち」を目指します。

さらに、野球場の完成や坂本ふれあい施設の開設により、この施設をスポーツ活動や子育て支援の中心的な施設として地域全体で子育てを支援し世代間交流のできるまちづくりの推進、地域コミュニティの形成を図っていきます。

## ▶ 落合地域

当地域は、中山道の街道文化により栄えた「落合宿」と往時の姿を伝える「落合宿本陣」、観光名所「落合の石畳」などを有する地区として宿場や歴史街道の面影を大切に継承し、訪れる人々の心に響く町並みづくりに取り組んでいきます。

地域の観光資源である「ふれあい牧場」は豊かな自然の恵みをうけ、心身のリフレッシュの場として人気のスポットであることから、さらに多くの人に来ていただけるよう、まちづくり推進協議会を中心に地域住民によるボランティア支援をしています。

さらに、地域の特産品である「落合の桃」は中津川市の特産ブランド品として名高く、販売普及に取り組んでいきます。

また、快適で安全安心な住みよい地域づくりの基本である人づくりに努め、互いに助け合い、世代間交流のできる地域づくりを推進していきます。

## ▶ 阿木地域

当地域は、水稻・夏秋トマト・シクラメン・そば栽培などの農業を中心とした中山間地域です。最近では、遊休農地を利用してそば栽培の面積を拡大し、そば粉、乾麺、そば焼酎を生産し、阿木川湖を中心とした観光、イベントを通じて特産品と観光を結びつけ販路の拡大を図っていきます。

今日、少子高齢化が進み、過疎化に拍車がかかっています。人と人の絆を強め、いきいきとした地域社会を作るための一環としてUIターン者用住宅の整備と、阿木地域の長年の要望であるコミュニティセンター駐車場の整備を進めます。

交通アクセスの整備として、明知鉄道は唯一の公共交通機関であり存続及び利用の促進を図ります。また国道 363 号は大型車が通行できない区間があり不便をきたしています。地域にとって重要な生活路線であることから改良促進に努めます。

文化振興として、文化財の長楽寺の大銀杏を地域で守り、安岐太鼓等地域に根付く伝統芸能の次世代への伝承と後継者育成に努めます。

最近各ボランティア団体が育ってきており地域行事には欠かせない存在となっています。地域のことは地域で担う互助の精神が徐々に養われて来ています。

互いに助け合う地域づくり、安全安心な地域づくり、活力のある地域づくりの基本である人づくりに努め、地域コミュニティの形成を図っていきます。

## ➤ 神坂地域

当地域は、恵那山系に抱かれた美しい自然と豊かな緑に囲まれた中山間地域で、古くから由来する東山道がもたらした史跡が随所に見られる地域です。

こうした美しく由緒ある郷土を大切に「住みよい豊かな地域づくり」を推進するために地域住民の創意工夫を結集しながら、「神坂・馬籠スマートインターチェンジ」の具現化並びに平成 20 年度に建設した U I ターン者用住宅を定住対策の「中核」に位置づけ若者の定住を進めます。また、基盤産業の農業を振興するために、活性化センター「湯舟の館」を拠点とした地域住民による「ふるさと特産品」の受託販売を推進し、特色ある農産物の栽培等に取り組み、増加しつつある遊休農地の解消につなげます。

さらに、風穴や神坂大桧、強清水と富士見台、神坂峠などの豊富な文化遺産の保全活動に努めるとともに、クアリゾート湯舟沢と馬籠藤村記念郷との結びつきにより中山道・馬籠宿等との地域を越えた連携を強め、地域観光の振興を図ります。

また、地域のイベントとして定着した「東山道もみじまつり」を継続して開催し、「地域で考え、地域で育てるイベント」として、地域の活性化と地域コミュニティの形成につなげます。

## ➤ 山口地域

当地域は、木曾山脈の西麓に位置し、緑濃き豊かな自然に恵まれた地域で、「中山道馬籠宿」「島崎藤村生誕地」として歴史と文化に裏打ちされた観光地でもあります。

越県合併から 4 年が過ぎ、地域住民もようやく岐阜県民・中津川市民として落ち着いた生活を過ごしており、協働・連携のまちづくりに取り組んでいます。

こうした中、豊かな自然景観の保全とともに、広域的な連携の強化や観光資源のさらなる魅力アップとネットワーク化に取り組み、継続事業である農免農道「ふるさと椿街道」の整備を推進し、「神坂・馬籠スマートインターチェンジ」の設置促進に取り組めます。

また、椿街道へのアクセス道路となる市道の拡幅補修やほ場整備・上水道の改修整備など社会基盤の補完も併せて進めてまいります。

また、小学校校舎の耐震化に続き、体育館の耐震化計画にも着手し、防災と安全な暮らしを促進します。

当地域は市街に最も近い旧町村域であることから、ベッドタウンとしての要素を P R し、若者の定住化を促進するとともに、ふるさと山口の魅力づくりと地域の活性化をさらに進めてまいります。

## ➤ 坂下地域

当地域は、JR 坂下駅を中心に半径 500m エリア内に広域医療施設の国保坂下病院や県立坂下高校などの教育施設、官公署、金融機関、商業施設などが集まり、コンパクトな市街地を形成しています。

健康・福祉のまちづくりの核となる国保坂下病院は、地域医療の中核病院として木曾地域からの通院・入院者も多く、健康で安心できる日常生活を願う地域住民の期待を担っていきます。

一方、健康な心と体力づくりに欠かせないスポーツの拠点施設である総合体育館は、中学校体育館として併用され、耐震化とともにリニューアルすることにより「やさか地域」の総合多目的施設として一層の活用を促進し、「やさか総合型地域クラブ」の活動が期待されます。

少子・高齢社会において地域の希薄化が懸念される中で、花馬まつり(県指定重要無形民俗文化財)などの伝統文化の継承が地域をつなぎ、公民館を拠点に自立した文化活動を支援していきます。

産業面では、国道 19 号から「椀の湖」へつながる乙姫農免農道も開通し、豊かな自然環境と「道の駅きりら坂下」の連携による観光地づくりを進めるとともに、地場産業への支援や銘木「東濃ひのき」の活用、ナス・トマト・栗など特産品の振興を図ります。

駅周辺の活性化に向けたまちづくりビジョンの策定やボランティア組織のネットワーク化など坂下まちづくり協議会の取り組みと連携し、市民が主役のまちづくりと地域が元気なコミュニティづくりを進めます。

## ▶ 川上地域

当地域は深山溪谷が織り成す裏木曾県立自然公園「夕森」の景勝地として新緑や紅葉の美しさは訪れる人に感動を与える自然豊かな地域です。

主な産業は観光と農林業で、清流「川上川」の流れる美しい森林の中で夏はキャンプ場に多くの観光客が訪れ、秋の「夕森もみじ祭り」は滝めぐりウォーキングや地産地消の郷土料理など地域住民がつくる交流型イベントとして定着し人気も高く、地域おこしと人づくりを目指した地域のコミュニティ形成につながっています。今後も観光資源を活用し交流人口と地域農産物の販路拡大を図っていきます。

地域面積の9割が森林で「東濃ひのき」の美林として山林整備を進め、間伐材等の資源活用を図るとともに災害に強い森林整備を行い山の保全に努めていきます。

地域住民の健康づくりと地域医療の核である「かたらいの里」、「川上診療所」は健康維持と病気の予防のための保健事業や子育て支援を推進するための拠点として適正な管理運営を行ってまいります。

また、自助と互助、共助の精神で行う市民活動により、川上を元気で住みよくすることを目的に設立された「川上まちづくり推進協議会」の活動を支援し地域の活性化を推進していきます。

## ▶ 加子母地域

当地域の林野率は94%と高く、豊かな森林資源を活かした林業や産直住宅、高冷地を活かした健康ミネラルトマト、飛騨牛生産などの農林業経営が産業の中心であり、歴史に培われた高い経験や技術力、ブランド力を活かして市場の開拓、就業人口の拡大、森林や基盤の整備、産直住宅の拡大に努めます。

また、間伐材や未使用材の有効利用と雇用創出のため、合板工場の建設を支援するとともに、少子高齢化と人口の減少に歯止めをかけるため「UIターン者用住宅」を整備し地域の活性化を図ります。

地域の文化遺産である、農村舞台「明治座」や「かしも大杉」の保存と活用を図り、伝統芸能である「加子母歌舞伎・獅子舞・木遣り」等の伝承と後継者育成に努めます。

地域の情報発信のため、「明治座」や「ふれあいのやかたかしも」等を核として、文化、教育、環境など都市との交流や、木匠塾やトヨタ紡織グループ等の大学や企業との交流を推進します。

「地域づくりは人づくり」をモットーに保育園、小中学校と地域が一体となった教育を展開し、郷土に誇りを持てる人材育成に取り組みます。

## ▶ 付知地域

当地域は、清流付知川通称『青川』がまちの中央を南北に流れ、豊かな森林はヒノキの原生林が連なり、東濃ひのきに代表される材木、木工製品の一大産地として栄えるとともに、林業や飛騨の匠の流れをくむ木工業などの木材関連産業と、それに携わる職人文化が発展してきた地域です。

また、おんぼい節、木遣り音頭など木に関連する伝統文化や、四季を通じ山紫水明の付知峡や倉屋温泉などの観光資源に恵まれており、訪れる人々に感動とやすらぎを与えています。

地場産業のPRと需要拡大を図り、『森林の市』や『レディースクラフトフェア』など付知地域の独自性を生かした集客力のあるイベントに付知独自の伝統文化を融合させ観光地として付加価値を高め、地域の活性化を図ります。

さらに地域住民自らがまちづくりを考える会、『付知町まちづくり協議会』の活動も3年目を迎え、部会を中心とした活発な活動を行い『活力あるまち』、『自然豊かなやすらぎのあるまち』を目指し、魅力ある付知地域のまちづくりを行うため、中心的な役割を担い、地域住民と行政との協働によるまちづくりを推進します。

### ➤ 福岡地域

当地域は、地理的に市の真ん中であって中心市街地や中核工業団地に近く、道路や上下水道も整備されているため、人口・住宅ともに増加しています。このため、生活環境に適した立地条件を活かした一般住宅の建設や企業誘致などの施策を推進し「魅力と活気」ある地域づくりに努めます。

健康づくりでは、「ほっとサロン」を活用した介護予防のための保健と健康づくり事業を推進します。

産業振興では、「夏秋トマト・茄子」及び「飛騨牛」、「梅酒」による農業の振興、特産品の開発として農家と商工会が連携して行う「あじめコショウ」のブランド化、林業では「産直住宅協同組合」の支援及び「緑のダム」となる森林の整備、観光面では地域資源である「ラジウム鉱泉」と地域特産食品のPRにより観光客の誘致増加を図ります

文化スポーツ振興では「常盤座」、「ふれあい文化センター」を活用し、地歌舞伎である「子供歌舞伎」を支援するとともに「総合型地域スポーツクラブ」の設立に努力し、B&Gの活用とスポーツの振興に取り組めます。

まちづくりは、合併前から培われた地域の多様性を尊重し、「まちづくり協議会」と連携して「自助、互助、公助」の役割を明確に「地域コミュニティ」づくりを進めます。

### ➤ 蛭川地域

当地域は、岐阜県でも唯一の石（花崗岩）の産出と加工技術が集積しています。この特徴ある産業技術の伝承と、新たなる技術・市場の確保に向けて産・官・学連携により振興を図ります。また、農業においては、国・県の農業振興施策を活用し、環境整備・農地集約などにより経営の成り立つ農業を地域一体となって推進します。

平成20年度に改修した公民館（蛭子座）を活用し、「勤勉彊直」の精神による健全で豊かな心を育むための社会教育と、生涯学習として市民とともに学び、市民自ら行動する地域づくりをより一層推進します。

合併により希薄となりがちな行政と市民が地域に対する「愛着」と「責任感」を共有し、手触り感のある顔の見える関係（地域共同社会）の構築と、地域を見つめる「目」でコミュニティが衰えることがないように、身の丈にあった効率的な地域振興を市民と連携して取り組むよう努めます。

## 2 会計別予算規模一覧表

(単位:千円, %)

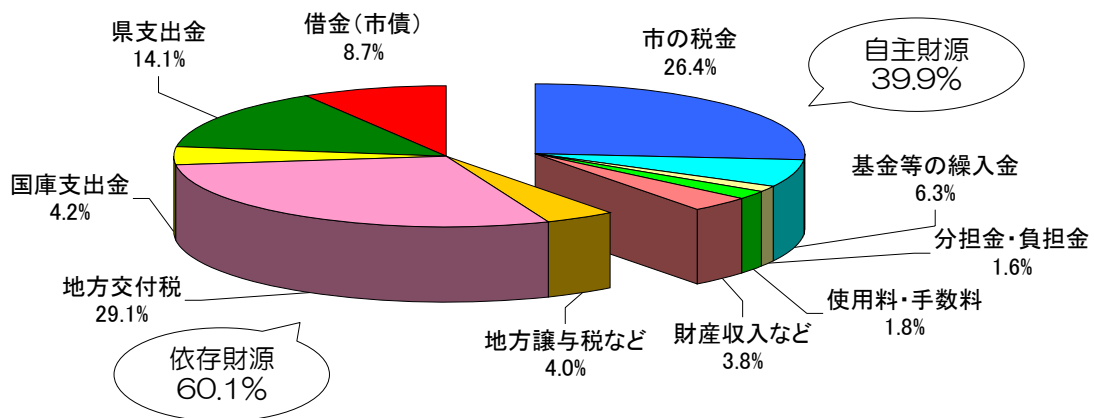
会 計 区 分	平成21年度		平成20年度		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
一 般 会 計	37,800,000	50.1	34,543,000	48.7	3,257,000	9.4
特 別 会 計	22,856,943	30.3	21,548,250	30.4	1,308,693	6.1
国民健康保険事業会計	7,718,877	10.2	7,600,439	10.7	118,438	1.6
事 業 勘 定	7,468,152	9.9	7,330,185	10.3	137,967	1.9
直営診療施設勘定	250,725	0.3	270,254	0.4	△19,529	△7.2
交通災害共済事業会計	23,103	0.0	23,163	0.0	△60	△0.3
駅前駐車場事業会計	22,520	0.0	14,420	0.0	8,100	56.2
下水道事業会計	4,913,131	6.5	3,053,873	4.3	1,859,258	60.9
老人保健事業会計	8,103	0.0	823,485	1.2	△815,382	△99.0
簡易水道事業会計	1,125,188	1.5	856,262	1.2	268,926	31.4
農業集落排水事業会計	750,511	1.0	976,027	1.4	△225,516	△23.1
特定環境保全 公共下水道事業会計	1,760,359	2.4	1,834,886	2.6	△74,527	△4.1
介護保険事業会計	5,657,736	7.5	5,475,088	7.7	182,648	3.3
個別排水処理事業会計	11,874	0.0	11,617	0.0	257	2.2
後期高齢者医療事業会計	865,541	1.2	878,990	1.3	△13,449	△1.5
企 業 会 計	14,752,048	19.6	14,850,433	20.9	△98,385	△0.7
水道事業会計	1,950,543	2.6	1,997,035	2.8	△46,492	△2.3
病院事業会計	12,801,505	17.0	12,853,398	18.1	△51,893	△0.4
計	75,408,991	100.0	70,941,683	100.0	4,467,308	6.3

3 一般会計総括表（歳入）

(単位:千円, %)

款	平成21年度		平成20年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 市 税	9,987,381	26.4	10,611,013	30.7	△623,632	△5.9
2 地 方 譲 与 税	420,000	1.1	459,000	1.3	△39,000	△8.5
3 利 子 割 交 付 金	40,000	0.1	40,000	0.1	0	0.0
4 配 当 割 交 付 金	13,000	0.0	29,000	0.1	△16,000	△55.2
5 株式等譲渡所得割交付金	5,000	0.0	23,000	0.1	△18,000	△78.3
6 地方消費税交付金	684,000	1.8	757,000	2.2	△73,000	△9.6
7 ゴルフ場利用税交付金	44,615	0.1	38,000	0.1	6,615	17.4
8 自動車取得税交付金	190,001	0.5	308,000	0.9	△117,999	△38.3
9 地方特例交付金	146,000	0.4	116,000	0.4	30,000	25.9
10 地 方 交 付 税	10,996,000	29.1	10,850,000	31.4	146,000	1.3
11 交通安全対策特別交付金	8,700	0.0	10,600	0.0	△1,900	△17.9
12 分担金及び負担金	596,564	1.6	566,129	1.6	30,435	5.4
13 使用料及び手数料	660,339	1.8	668,110	1.9	△7,771	△1.2
14 国 庫 支 出 金	1,571,220	4.2	1,571,296	4.5	△76	△0.0
15 県 支 出 金	5,344,802	14.1	2,132,632	6.2	3,212,170	150.6
16 財 産 収 入	147,380	0.4	148,265	0.4	△885	△0.6
17 寄 附 金	510	0.0	1,001	0.0	△491	△49.1
18 繰 入 金	2,368,054	6.3	2,005,509	5.8	362,545	18.1
19 繰 越 金	300,000	0.8	300,000	0.9	0	0.0
20 諸 収 入	972,934	2.6	878,645	2.6	94,289	10.7
21 市 債	3,303,500 (1,496,500)	8.7 (4.0)	3,029,800 (1,762,000)	8.8 (5.1)	273,700 (△265,500)	9.0 (△15.1)
歳 入 合 計	37,800,000	100.0	34,543,000	100.0	3,257,000	9.4

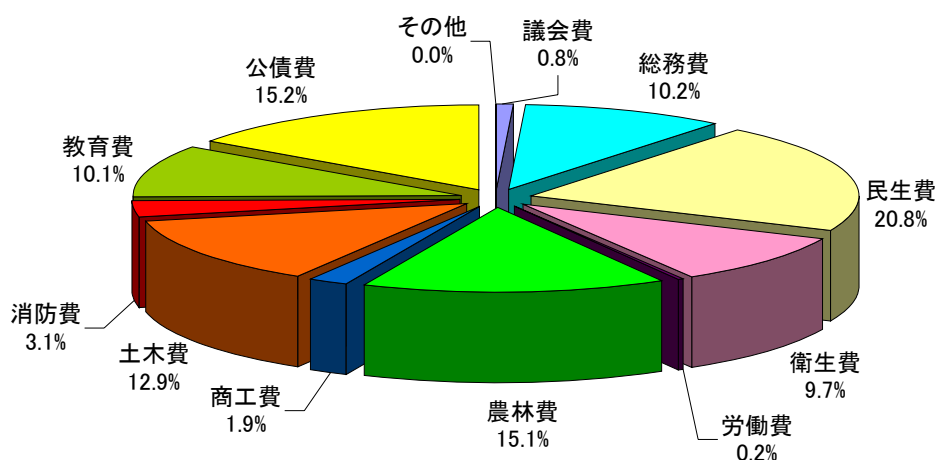
※市債欄の( )書きは、合併特例債、過疎対策事業債、辺地対策事業債の合計額で、償還時に地方交付税による財源補てんがあるもの。



4 一般会計総括表（目的別歳出）

(単位:千円, %)

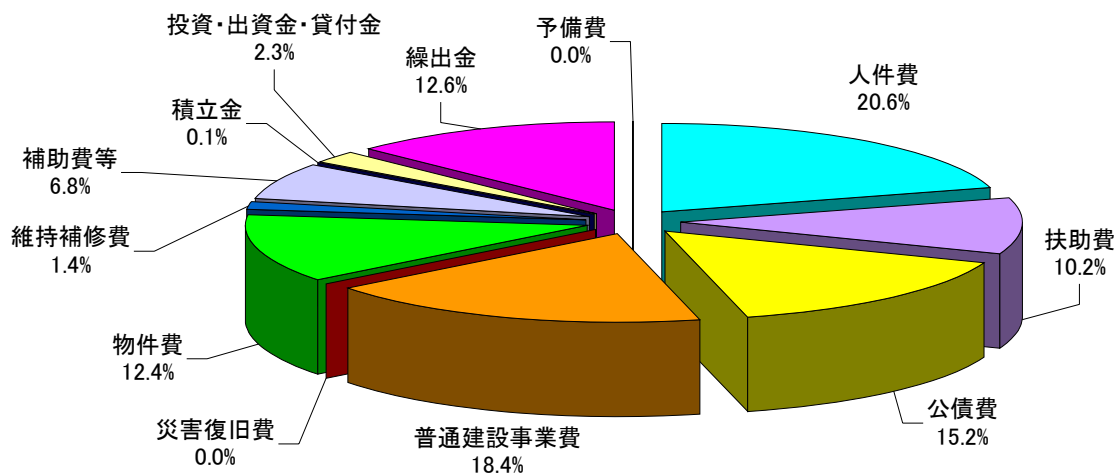
款	平成21年度		平成20年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 議 会 費	288,497	0.8	290,542	0.8	△2,045	△0.7
2 総 務 費	3,848,917	10.2	4,065,145	11.8	△216,228	△5.3
3 民 生 費	7,863,001	20.8	7,585,315	22.0	277,686	3.7
4 衛 生 費	3,677,876	9.7	3,863,898	11.2	△186,022	△4.8
5 労 働 費	74,268	0.2	79,725	0.2	△5,457	△6.8
6 農 林 費	5,701,909	15.1	2,542,725	7.4	3,159,184	124.2
7 商 工 費	707,681	1.9	702,526	2.0	5,155	0.7
8 土 木 費	4,884,492	12.9	4,494,781	13.0	389,711	8.7
9 消 防 費	1,181,941	3.1	1,172,586	3.4	9,355	0.8
10 教 育 費	3,823,220	10.1	3,795,555	11.0	27,665	0.7
11 災 害 復 旧 費	800	0.0			800	皆増
12 公 債 費	5,742,397	15.2	5,945,202	17.2	△202,805	△3.4
13 諸 支 出 金	1	0.0			1	皆増
14 予 備 費	5,000	0.0	5,000	0.0	0	0.0
歳 出 合 計	37,800,000	100.0	34,543,000	100.0	3,257,000	9.4



## 5 一般会計歳出予算の状況（性質別）

(単位:千円, %)

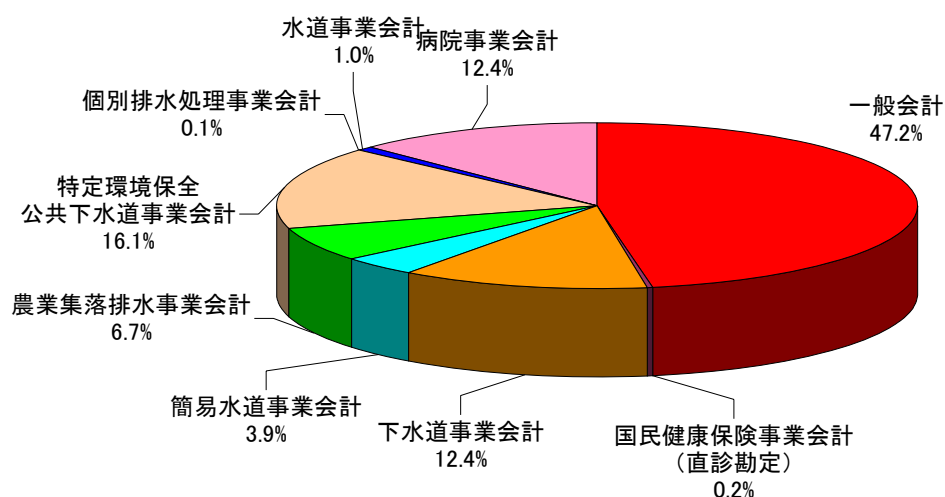
区分	年度	平成21年度		平成20年度		比較	
		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	人件費	7,790,407	20.6	7,680,545	22.2	109,862	1.4
	扶助費	3,851,701	10.2	3,623,756	10.5	227,945	6.3
	公債費	5,742,397	15.2	5,945,202	17.2	△202,805	△3.4
	小計	17,384,505	46.0	17,249,503	49.9	135,002	0.8
投資的経費	普通建設事業費	6,952,313	18.4	3,876,856	11.2	3,075,457	79.3
	補助	3,913,365	10.4	1,492,183	4.3	2,421,182	162.3
	単独	3,038,948	8.0	2,384,673	6.9	654,275	27.4
	災害復旧費	800	0.0	0	0.0	800	皆増
	小計	6,953,113	18.4	3,876,856	11.2	3,076,257	79.3
その他	物件費	4,695,340	12.4	4,585,720	13.3	109,620	2.4
	維持補修費	533,410	1.4	535,301	1.5	△1,891	△0.4
	補助費等	2,562,480	6.8	2,747,566	8.0	△185,086	△6.7
	積立金	25,068	0.1	27,519	0.1	△2,451	△8.9
	投資及び貸付金	860,702	2.3	1,007,777	2.9	△147,075	△14.6
	繰出金	4,780,382	12.6	4,507,758	13.1	272,624	6.0
	予備費	5,000	0.0	5,000	0.0	0	0.0
	小計	13,462,382	35.6	13,416,641	38.9	45,741	0.3
歳出合計		37,800,000	100.0	34,543,000	100.0	3,257,000	9.4



## 6 起債残高

(単位:千円, %)

会 計 区 分	平成21年度末見込残高		平成20年度末見込残高		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
一 般 会 計	45,680,618	47.2	47,328,848	47.3	△1,648,230	△3.5
特 別 会 計	38,058,144	39.4	39,145,778	39.2	△1,087,634	△2.8
国民健康保険事業会計 (直営診療施設勘定)	206,419	0.2	226,211	0.2	△19,792	△8.7
下 水 道 事 業 会 計	12,033,665	12.4	12,235,700	12.2	△202,035	△1.7
簡易水道事業会計	3,750,892	3.9	3,678,932	3.7	71,960	2.0
農業集落排水事業会計	6,465,951	6.7	6,769,904	6.8	△303,953	△4.5
特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 事 業 会 計	15,538,594	16.1	16,171,213	16.2	△632,619	△3.9
個別排水処理事業会計	62,623	0.1	63,818	0.1	△1,195	△1.9
企 業 会 計	12,955,059	13.4	13,533,463	13.5	△578,404	△4.3
水 道 事 業 会 計	952,669	1.0	1,024,674	1.0	△72,005	△7.0
病 院 事 業 会 計	12,002,390	12.4	12,508,789	12.5	△506,399	△4.0
計	96,693,821	100.0	100,008,089	100.0	△3,314,268	△3.3





平成 21 年度中津川市当初予算の概要

中津川商工会議所	5,000
中津川北商工会	23,000
商店街街路灯電灯料	650
元気都市づくり支援事業	4,483
中津川産業フェア	100
小口融資保証料補給金	4,290
小口融資利子補給金	3,120
中心市街地活性化協議会	600
中津川市観光協会	2,170
やさか観光協会	810
福岡観光協会	540
蛭川観光協会	295
馬籠観光協会	1,800
根の上高原観光事業	360
中津川夏まつり	4,000
中津川風流おどり保存連合会	1,300
坂下イベント事業	4,250
川上イベント事業	2,580
加子母イベント事業	1,300
付知イベント事業	3,839
福岡イベント事業	3,600
蛭川イベント事業	3,751
山口イベント事業	5,500
神坂イベント事業	200
中津川「道の駅」ネットワーク会議	250

**文化スポーツ部関係 6,298**

市民組織活性化支援事業	1,470
中津川市姉妹都市友好推進協会	600
民間国際交流事業	100
幡豆町交流事業(付知)	90
対馬市交流事業(蛭川)	900
小諸市・大磯町交流事業(山口)	400
阿木川湖ロードレース大会	150
スポーツクラブ	826
坂下還暦マラソン大会	288
地区運動会	952
B&G国内体験セミナー体験事業	522

**基盤整備部関係 163,435**

まちなみ景観形成事業	10,000
農林漁業資金償還元利補給金	76,362
苗木地区県営ほ場整備事業	10,634
阿木南部地区県営ほ場整備事業	5,165
神坂地区中山間地域農村活性化総合整備事業	34
団体営ほ場整備事業	1,713
加子母ほ場整備事業	87
林道開設事業償還元利補給金	3,513
木造住宅等耐震診断事業	450
木造住宅等耐震補強事業	50,400
住宅耐震化促進事業	4,172
住宅耐震化促進会議活動事業	240
住宅資金利子補給金	665

**水道部関係 47,941**

家庭用合併処理浄化槽設置整備事業	47,892
水洗便所等改造資金利子補給金	49

**消防本部関係 500**

女性防火クラブ	500
---------	-----

**教育委員会関係 108,589**

遠距離通学費	9,253
教育研究会	284
遠距離通園バス事業	466
低年齢児保育対策事業	14,880
延長保育対策費	21,460
障害児保育対策費	5,419
一時保育事業	2,258
私立幼稚園助成事業	5,873
私立幼稚園就園奨励費	47,946
保育所地域活動事業	750

**■特別会計**

**下水道事業会計 437**

水洗便所等改造資金利子補給金	437
----------------	-----

**農業集落排水事業会計 366**

水洗便所等改造資金利子補給金	366
----------------	-----

**特定環境保全公共下水道事業会計 531**

水洗便所等改造資金利子補給金	531
----------------	-----

**個別排水処理事業会計 56**

水洗便所等改造資金利子補給金	56
----------------	----

8 歳出節別予算集計表

節	(単位：千円)														本年度合計	構成比 (%)
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14		
01 報酬	197,191	16,162	6,217	396	8,688	39	119	77,430	40,749						346,991	0.92
02 給料	25,878	774,811	606,745	371,615	244,740	79,460	249,895	423,502	476,633						3,253,279	8.61
03 職員手当等	15,601	1,316,034	327,868	223,892	142,014	51,014	144,551	302,592	269,716						2,793,282	7.39
04 共済費	30,298	234,211	230,128	112,718	857	70,019	70,437	119,617	201,420						1,092,023	2.89
05 災害補償費		100						200							300	0.00
06 恩給及び退職年金																
07 賞金		72,633	489,624	70,532	11,150	15,424	4,708	544,218							1,212,701	3.21
08 報償費		6,391	3,619	26,477	690	7,656	100	1,817	144	29,736					76,630	0.20
09 旅費		5,860	4,539	139	312	735	582	336	655	2,642					15,812	0.04
10 交際費		600	1,300					50	150						2,100	0.01
11 需用費		2,292	166,484	226,097	651,212	3,071	78,176	45,797	182,153	62,864	956,868				2,375,014	6.28
12 役務費		51	102,488	31,081	31,308	488	4,114	1,816	2,316	18,482	39,828				231,972	0.61
13 委託料		5,877	470,159	906,729	773,311	7,862	154,339	98,112	453,145	44,806	420,130				3,334,470	8.82
14 使用料及び賃借料		273	115,745	13,898	9,572	1,655	5,238	15,478	8,692	8,662	54,392				233,605	0.62
15 工事請負費		319,977	35,600	17,310	352,932	94,703	653,292	14,082	303,780	800					1,792,476	4.74
16 原材料費		3,995		15,935	8,455	960	23,358	457	1,352						54,512	0.14
17 公有財産購入費				15,354	9,647	142,672	3,750						1		171,424	0.45
18 備品購入費		40	9,155	17,856	340	581	600	40,264	134,959						203,795	0.54
19 負担金補助及び交付金		4,536	104,799	890,698	1,074,158	23,983	4,129,702	194,710	135,201	64,172	160,135				6,782,094	17.94
20 扶助費		192	2,688,687						40,543						2,729,422	7.22
21 貸付金					24,500	98,000			141,040						263,540	0.70
22 補償増及び賠償金		27,731			14,485		145,178								187,394	0.50
23 償還金利子及び割引料		75,825										5,742,397			5,818,222	15.39
24 投資及び出資金					7,812	180									7,992	0.02
25 積立金		19,756	10	5,041	43				1,179						26,029	0.07
27 公賦費		6,430					108	3,962							10,500	0.03
28 繰出金			1,388,005	278,393	447,109		2,665,914								4,779,421	12.64
29 予備費														5,000	0.01	
合計	288,497	3,848,917	7,863,001	3,677,876	74,268	5,701,909	707,681	4,884,492	3,823,220	800	5,742,397	800	5,742,397	1	37,800,000	100.00
構成比 %	0.76	10.18	20.80	9.73	0.20	15.08	1.87	12.92	10.11	0.00	15.19	0.00	15.19	0.01	100.00	
財源		372,506	2,271,618	60,927	10,347	3,697,094	56,540	251,781	56,158	139,051					6,916,022	18.30
内 地方債		211,500	4,700			224,500	48,900	1,013,700	186,900						1,690,200	4.47
内 その他		1,003,554	620,255	344,037	29,539	289,394	140,479	248,930	8,254	714,995	800	153,170			3,553,407	9.40
内 一般財源	288,497	2,261,357	4,966,428	3,272,912	34,382	1,490,921	461,762	3,370,081	1,117,529	2,782,274	5,589,227	1	5,589,227	1	25,640,371	67.83